

沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語彙

かりまた, しげひさ / 仲間, 恵子 / 宮城, 萬勇

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言 / 琉球の方言

(巻 / Volume)

37

(開始ページ / Start Page)

45

(終了ページ / End Page)

86

(発行年 / Year)

2013-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012503>

沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語語彙

かりまたしげひさ・仲間恵子・宮城萬勇

1. はじめに

沖縄島北部の名護市幸喜集落の方言にも実際の音をまねて動きや状態のようすをあらわしたり、動きや状態のようすを音の感じであらわしたりする擬声擬態語が存在する。幸喜方言の擬声擬態語は、主として述語になる動詞を修飾し、述語のあらわす動作、変化、動き、状態のありさまをあらわす。擬声擬態語は、形態論的には語形変化のシステムをもたず、構文機能的には連用修飾語として述語を修飾する。形態論的な特徴と構文機能的な特徴を重視すると、幸喜方言の擬声擬態語は副詞に分類される。

本稿は、幸喜集落出身の宮城萬勇の収集・編集した『名護市幸喜方言辞典』（仮題）の草稿を出版刊行するため、かりまたと仲間恵子が幸喜集落の依頼をうけ、そこに記載されたの単語の音声と意味と品詞の確認、用例の検討と追加をおこなう過程でえられたものの中から擬声擬態語をとりだしてまとめたものである。確認作業の過程でえられた単語を追加し、意味記述、対応する日本語、用例を確認追加している。

現地調査は、かりまたと仲間恵子が2000年4月から2012年9月27日までの期間に幸喜区公民館の協力を得て行なった。2012年9月27日で476回の調査を行ない、なお継続中である。話者は幸喜集落在住の宮城百合子氏（1916年～2012年）、宮城文氏（1920年生）のお二人。いずれも幸喜生まれ育ちで、両親も配偶者も幸喜出身者である。

幸喜方言の擬声擬態語の文法的な特徴については、かりまたしげひさ（2012）にややくわしくかいた。本稿には、副詞としての擬声擬態語のほかに、数はすくないが、擬声擬態語から派生した動詞と名詞と形容詞がふくまれている。かりまた（2012）にも書いているが、擬声擬態語には、様態副詞としての意味を実現するものと結果副詞としての意味を実現するものがある。また、ひとつの擬声擬態語が様態副詞の意味と結果副詞の意味のふたつを実現するものもある。用例からある程度の推測はできるが、いずれの意味を実現するか確認作業がのこされている。また、ひとつの擬声擬態語が多義的な意味を実現しているとき、それが多義語なのか、ふたつの同音異義語なのか判断がむずかしい。この解決ものこされた課題である。

幸喜方言の擬声擬態語には、はだかの重複形、部分重複形、tuを後接させた重複形があるが、これら重複形をもとに、接辞-naiを後接させたひとえ形の擬声擬態語を派生させることができるものとできないものがある。本稿ではそのいくつかのnaiひとえ形をあげているが、どの重複形からnaiひとえ形がつくれるのかの確認作業ものこされている。副詞とし

ての擬声擬態語に接尾辞-mikasuN、-makasuNを後接させて派生動詞をつくることができるが、その確認作業もまだできていない。のこされた課題はおおいが、琉球諸語の擬声擬態語研究のための基礎的な資料として利用していただけるのではないかと思う。

2. 名護市幸喜方言の擬声擬態語彙

アーアー【副詞】 ああああ。ため息をつくさま。シワグトゥ マンディ メーナチ アーアー スン（心配事が多く毎日ああああとしている）。アヌ チューヤ クチ パラチ アーアーンカ スン（あの人は口を開いてあああばかりする）。

アーバサーバ【副詞】 べちやくちゃ。とりとめもなくしゃべるさま。くだらないことをしゃべるさま。アーバサーバ ムヌンカ ユムン（べちやくちゃおしゃべりばかりする）。

アチコーコー【名詞】 あつあつ。(1)あつあつ。料理などができたてで熱いこと。煮えたばかりのさま。(2)熱々のもの。できたてであつあつの飲食物。コーヒーヤ アチコーコーイリレー（コーヒーは熱いのを入れる）。

アブアブ【副詞】 あっぷあっぷ。おぼれて水の中でもがいているさま。アヌ クワーヤ ブックティ アブアブシー ブラ プクン（あの子は溺れてアップアップと泡を吹いている）。

イヒヒー【副詞】 いひひ。ごまかし、きまずさ、はじらいなどを含んでわらう声。イヒヒーディチ ワレイン（イヒヒと笑う）。

ウーガーガー【副詞】 (1)がらんどうに。がらんと。建物などの中に何もなく、広く感じられるさま。タイクカンヌ ナハヤ ウーガーガー ナトゥン（体育館の中はがらんどうになっている）。(2)ぽっかり。大きく穴があいているさま。バクダンヌ ウティティ アナーウーガーガー ナトゥン（爆弾がおちて穴がぽっかりとあいている）。

ウーバタナイ【副詞】 びしょびしょに。水にひどく濡れた様子。ずぶ濡れになったさま。アミヌ マギサヌ ウーバタナイ ディータワン（雨がひどくて、びしょびしょに濡れてしまった）。

ウーバタバタ【副詞】 びしょびしょに。水にひどく濡れた様子。ずぶ濡れになったさま。アミヌ マギサヌ ウーバタバタ ディートゥン（雨がひどくて、びしょびしょに濡れている）。

ウームタムタ【副詞】 げらげら。大勢で笑いざわめくさま。ケッサヌ チューガ ウームタムタシ ワラトゥン（大勢の人がげらげらと笑っている）。

ウエーウエー【副詞】 げえげえ。嘔吐を催し、飲食物をもどす時の声。またはそのさま。ヌーガ カダラ ウエーウエーシ ムヌー パクン（何を食べたのか。げえげえと吐いている）。

ウエーウエー【副詞】 わあわあ。わんわん。声を上げて泣くさま。ウエーウエー ナチ（わあわあと泣いて）。アンマガ ウラントゥ ウエーウエーシ ナクン（母がいないのでわあ

わあ泣いている)。

ウェーナイ【副詞】 げえげえ。嘔吐をもよおし、飲食物をもどす時のさま。ウェーナイ ムヌー パクン (げえげえと吐いている)。

ウカウカ【副詞】 うかうか。うっかり。そわそわ。行動をおこす時に注意の足りないさま。うっかりしているさま。

ウカウカ【副詞】 目がさえてねむれないさま。カタジャー ヌミネ ウカウカシ ニンバラ (濃い茶を飲んだら目がさえて眠れない)。キニ ナティ ウカウカ ニンビゴロホン (気になって目がさえて寝付けない)。

ウジウジ【副詞】 うじうじ。ためらい迷うさま。ウジウジンカ シー ヤク タタン (うじうじばかりして役に立たない)。

ウロウロ【副詞】 うろうろ。あちこち歩きまわるさま。アマンマン ウロウロ サクシガ アヤシ ムヌ アランガヤー (あちこちうろうろ歩くが怪しいものではないだろうか)。

ウロナイ【副詞】 うろうろ。目的もなくうろつくさま。シグトゥン サングトゥ ウロナ インカ サクン (仕事もせずにうろうろばかりしている)。

ウンブイウンブイ【副詞】 (1)こっくりこっくり。居眠りなどのさま。アギジャビヨー、チブル ウンブイウンブイ スン (あらまあ、頭をこっくりこっくりしている)。ウンブイ ウンブイ プニ フーゲン (こっくりこっくり船をこぐ)。(2)ふらふら。首を前後左右に揺れ動かすさま。サキ ヌディ ウンブイウンブイシ チブル プティ アッチャクン (酒を飲んでふらふら頭を振って歩いている)。

ウンブイコーブイ【副詞】 こっくりこっくり。首を前後左右に曲げるさま。居眠りなどのさま。ウンブイウンブイともいう。イッチュティ ウンブイコーブイ プニ フーゲン (座ったままこっくりこっくりと船をこいでいる)。

オーオー【副詞】 げえげえ。人が嘔吐するさま。

オーナイ【副詞】 げえげえ。人が嘔吐するさま。オーナイ ムヌー パクン (げえげえ食べ物を吐く)。オーナイ パクスガ ヌー カダガ (げえげえ吐いているが、何を食べたの)。

オホオホ【副詞】 ごほんごほん。ごほごほ。こんこん。つづけて大きく咳をする音。オホオホ サクインカ スースガ アンマサル アインナ (ごほんごほん咳ばかりしているが具合でもわるいのか)。

オホホー【副詞】 おほほ。女性が口をすぼめて笑う声。オホホーシ ワライン (おほほと笑う)。

オホホーナイ【副詞】 おほほ。女性が口をすぼめて笑う声。オホホーナイ ワライン (おほほと笑う)。

オホミカスン【動詞】 (自) ごほんとする。ごほんと大きく咳をする。

カーカー【副詞】 (1)ひりひり。ぴりぴり。かっか。辛みを感じるさま。ハラグソ カミネ

ヌディガ ピーラチ カーカー スン (唐辛子を食べると喉がひりひりとする)。(2)はあはあ。辛いものをたべて口を大きく開けて息をはくさま。カーカー スースガ ハラハル
 アインナ (はあはあしているが辛いのか)。(3)かっか。かあっと。口を大きくひらいて痰や
 魚の小骨などの喉の異物を出すさま。ユース ギー ハカティ ヌデイ カーカー スン
 (魚のとげがかかって喉をかっかする)。カスグイ カーカー イジャスン (痰をかあっと
 出す)。

カーカー【副詞】 かあかあ。からすの鳴き声。

ガーガー【副詞】 (1)ががああ。カラスなど鳥が騒がしく鳴くさま。クース ガラサーヤ
 ガーガー ナキ ヤガマハヌ (今日のカラスはがあがあ鳴いてうるさい)。(2)がやがや。騒
 がしいさま。チュー アチマティ ガーガー ムゲイスガ、ヌー エガヤー (人が集まっ
 てがやがや騒いでいるが、何だろう)。(3)ぺちゃくちゃ。おしゃべりなさま。ガーガー ム
 ヌンカ ユムン (ぺちゃくちゃおしゃべりばかりする)。

ガーガー【副詞】 (1)がらん。がらんどろ。家や部屋、器などの中になにもないさま。(2)ぼ
 っかり。穴がひろくあいているさま。空洞になっているさま。アナー プギティ ガーガ
 ー ナトゥン (穴が空いてがらんとっている)。(3)すかすか。すき間の多いさま。キャク
 イキラハヌ イーヌ パラガ ガーガー アチュン (客が少なくて座るところがすかすか
 に空いている)。

ガークガーク【副詞】 けろけろ。蛙の鳴き声。アタビチャガ ガークガークシ ナクン (ヌ
 マガエルがけろけろと鳴く)。

カーナイ【副詞】 かっか。かあっと。口を大きくひらいて痰などの喉の異物を出すさま。
 カスグイ カーナイ イジャスン (痰をかあっと出す)。

カーナイ【副詞】 かあかあ。からすの鳴き声。

カーミカスン【動詞】 (他) かあっと吐く。口を大きくひらいて痰などの喉の異物を出す。
 カーミカチ カスグイ イジャスン (かあっと痰を出す)。

カーミカスン【動詞】 (自) (からすが) かあと鳴く。

ガーラガラ【副詞】 (1)ごろごろ。雷の鳴る音。ハンナミー ガーラガラ ナイトゥ アミ
 プイサ (雷がごろごろ鳴っているから雨が降るよ)。(2)ごろごろ。重いものがころがり動く
 音。ニーバサー アッカシネー ガーラガラ ナイン (荷馬車を進めるとごろごろ鳴る)。

ガーラナイ【副詞】 がちゃんと。がちゃんがちゃんと。マカイヌ ガーラナイ ワリティ
 ヒティタン (お椀ががちゃんと割れて捨てた)。ドゥー サクー イジティ マカイサラ
 ガーラナイ ワタン (八つ当たりして食器をがちゃんがちゃんと割った)。

ガーラナイ【副詞】 ごろごろ。雷の鳴る音。ハンナミー ガーラナイ ナイトゥ アミ
 プイサ (雷がごろごろ鳴っているから雨が降るよ)。

ガーラミカスン【動詞】 (他) がちゃんと割る。(自) がちゃんと割れる。アギジャビヨー

マカイ ウトウチ ガーラミカチ ワリタン (あらまあ。お椀を落としてがちゃんと割れた)。

ガーラミカス【動詞】 (自) 雷がごろっと鳴る。ハンナミー ガーラミカストゥ アミ
プイサ (雷がごろごろ鳴っているから雨が降るよ)。

ガウエーガウエー【副詞】 豚の鳴き声。ふうふう。騒がしく鳴きたてる時の声をいう。グ
ーグーともいう。

ガクガク【副詞】 (1)がくがく。体の一部が怖さや寒さ、緊張などのために、ふるえるさま。
ピサ ガクガクシ アッカラン (足ががくがくして歩けない)。タカハヌ パララ シチャ
ミーネー ウバーハヌ ピサ ガクガク スン (高いところから下を見ると怖くて足がが
くがくする)。(2)べらべら。立て続けによくしゃべるさま。クチ ガクガクシ アウインカ
スン (べらべらしゃべってばかりいる)。今はパクパクという。

ガサガサ【副詞】 (1)ごとごと。がさがさ。物のふれ合って音をたてるさま。ねずみがうご
きまわるときの音など。ユナガトウ エンチュガ ガサガサ スン (一晩中ネズミががさ
がさする)。(2)ずるずる。ものをひきずる音。また、そのさま。ニー ガサガサ スンカン
ケー (荷をずるずるひきずるな)。(3)ぎこぎこ。ぎしぎし。ぎちぎち。のこぎりで木を切る
など硬いものが互いにこすれあうさま。ヌクギリチ キー ガサガサ キーン (のこぎり
で木をぎこぎこ切る)。ガサガサ キーヌ ウトウ スン (ぎしぎし木の擦れる音がする)。
(4)ざらざら。口ざわりの悪いさま。食物に砂がはいった時などにいう。クチヌ ナハンテ
イ シナ ガサガサ スン (口の中で砂がざらざらする)。ニリガ イッチ ガサガサ パ
ーニ アタテイ カマラン (砂が入ってガサガサと歯にあたって食べられない)。(5)がさが
さ。がさつなさま。らんぼうにするさま。アリヤ ガサガサ スートウ マシエク ネン (彼
は荒っぽくするから良くない)。(6)さっさと。ぐずぐずしないで。せきたてるとき用いる。
ガサガサ アッケー (さっさと歩け)。**【形容詞】** がさつな。らんぼうな。アレー ガサガ
サ エトウ アリニヤ シミラン (彼はがさつだから、彼にはさせない)。

ガサナイ【副詞】 ぎこぎこ。ぎしぎし。ぎちぎち。のこぎりで木を切るなど硬いものが互
いにこすれあうさま。ヌクギリチ キー ガサナイ キーン (のこぎりで木をぎこぎこ切
る)。

ガサナイ【副詞】 さっさと。ぐずぐずしないで。ものごとや動作を手早くおこなうさま。
せきたてるとき用いる。ガサナイ アッケー (さっさと歩け)。ガサナイ シェーワ (さっ
さとしなさい)。

ガシガシ【副詞】 さっさと。手早く。ガシガシ アッケー (さっさと歩け)。ガシガシ
ハク サーニ (さっさと早くしないか)。ガシガシ セー (さっさとやれ)。

ガシガシ【副詞】 ざらざら。口ざわりの悪いさま。食物に砂がはいった時などにいう。プ
ヌイヤ アライワッサガ アイタラ ガシガシ スン (ふのりは洗い方が悪かったのか、
ざらざらする)。

ガシナイ【副詞】 さっさと。手早く。ぐずぐずしないで。ものごとや動作を手早くおこなうさま。せきたてるとき用いる。ムタムタ ハタジキラングトゥ ガシナイ シジミレー (もたもた片付けしないでさっさと片付ける)。

ガタガタ【副詞】 (1)がたがた。恐れ、寒さなどで体がふるえるさま。ピーハヌ ガタガタ ワンミクン (寒くてがたがた震える)。ピーハヌ ドゥー ブル ガタガタ プリン (寒くて体中がたがた震える)。(2)がたがた。安定が悪く音が出るさま。ヤードゥヌ ガタガタ スン (雨戸がたがたしている)。ハタピサ インカハトゥ ガタガタスン ((机の)片足が短いのでがたがたする)。

ガタナイ【副詞】 がたがたと。恐れ、寒さなどで体がふるえるさま。アミニ デイーテイ ガタナイ スーワン (雨に濡れてがたがたしてしまう)。ドゥク ピーハヌ ガタナイ ワンミクン (とても寒くてがたがた震える)。ドゥク ピーハヌ クチビル ガタナイ カムサ (あんまり寒くて唇をがたがたと噛む)。

ガタミカスン【動詞】 (自) (1)がたがた震える。恐れ、寒さなどで体がふるえる。(2)がたがた鳴る。安定が悪く音が出る。ハジョーハヌ ヤードゥ ガタミカスタン (風が強くて、戸ががたがたした)。チャー ガタミカスートゥ ヤードゥ カギ イリレー (ずっとがたがたするから、戸を鍵を入れる)。

ガチガチ【副詞】 (1)がちがち。上下の歯を連続してかみあわすさま。ニントゥテイ パーガチガチ ナラストン (寝ていて歯をがちがち鳴らした)。ピーハヌ ハマチー ガチガチ シチャン (寒くてあごがちがちした)。(2)がたがた。がちがち。寒さや憤りなどで、体や体の一部が小刻みに震えるさま。ピーハヌ ガチガチ ワンミクン (寒くてがたがた身震いする)。

カッカー【副詞】 ちゅちゅ。ホオグロヤモリ (別名ナキヤモリ) の鳴き声。ヤーソージマ ヤヤ ユーアキガタニ カッカーシ ナクン (ヤモリは夜明けにちゅちゅと鳴く)。

ガテガテ【副詞】 (1)ひょこひょこ。ぴよこぴよこ。何回も上下左右に動かしたり揺れたりするさま。ピサガ ヤムラ、ガテガテ アックン (足が痛むのか、ひょこひょこ歩く)。(2)ぴよんぴよん。何度も跳びはねるさま。アタビチャガ ガテガテシ トゥディアックン (カエルがピョンピョン跳び回っている)。(3)【名詞】 けんけん。片足跳びのあそび。クーヤ ガテガテ サーヤ (今日はけんけんをしよう)。

カパカパ【副詞】 途中で目が覚めたり、あるいは起こされたりして寝られず、寝足りないさま。目があいて寝られないさま。ハタジャー ヌミネヤ ミー カパカパ シー ミー グパイ スン (濃い茶を飲んだら目がさえて目がこわばる)。ミー カパカパ シー ミー パラカラン (目がさえて目があけられない)。

カパナイ【副詞】 途中で目が覚めたり、あるいは起こされたりして寝られず、寝足りないさま。目がさえて寝られないさま。ハタジャー ヌミネヤ ミー カパナイ シー ニン

バラン（濃い茶を飲んだら目がさえて眠れない）。

ガパミカスン【動詞】（他）ほかと叩く。ごつんと叩く。固い物同士を叩きあわせる。ヤクミニ ティディクミチ チブル ガパミカハッタン（兄に拳骨で頭をごつんと叩かれた）。

ガブガブ【副詞】 ごくごく。がぶがぶ。水や酒などを勢いよくたくさん飲むさま。サキジョーグヤ ガブガブ ヌムン（上戸はごくごく飲む）。

ガブナイ【副詞】 ごくごく。がぶがぶ。水や酒などを勢いよくたくさん飲むさま。サキジョーグヤ ガブナイ ヌムン（上戸はごくごく飲む）。

ガブミカスン【動詞】（他）ごくごく飲む。水や酒などを一気に飲む。ガブミカチ スケインティ ヌムン（ごくごと一度に飲む）。

ガヤガヤ【副詞】 がやがや。騒がしいさま。大勢の人々が口々に何かをいうさま。チューガ ウボホヌ ガヤガヤシ ヤガマハン（人が多くてがやがやとうるさい）。イッタガ ガヤガヤ アウイトゥ、ムヌン キカラン（おまえたちががやがや騒ぐので、何も聞こえない）。

カラカラー【副詞】 からから。乾燥しているさま。干からびているさま。動物の骨などが骸骨になっているさま。カラカラー ナトゥン（からからになっている）。

カラミカスン【動詞】（他）(1)からんと鳴らす。固いものを軽くあてて音を出す。アシジャー カラミカチ アックタン（下駄をからんと鳴らして歩いた）。(自) (2)からんと鳴る。固いものが軽くあたって音を出す。

ガラミカスン【動詞】（他）(1)がらんと鳴らす。がらっと鳴らす。固いものを強く打ち当てる。トゥングワンティ マハイ ガラミカチ ウトゥチ ワティ ネーン（台所でお碗をがらっと落として割ってしまっている）。(自) (2)がらんと鳴る。がらっと鳴る。固いものが強く打ち当たる。

ガンガラー【副詞】 (1)がらんと。からっぽのさま。アマヌ ヤーヤ ヤーウティー シーガンガラー ナティ シカラーハン（むこうの家は引越をしてがらんとなって寂しい）。ガンガラー ナティ チュイタインカル ヌクトゥル（がらんとなって一人二人しか残っていない）。【形容詞】 (2)がらんどうな。ヤー スクタスガ ナーマ ヤードーグ ハヤハントゥ ガンガラー エン（家を建てたが、まだ家具を運んでいないのががらんどうだ）。

カンカン【副詞】 とんとん。まな板の上で調子よくものを刻むさま。ポーチャウトゥ カンカン スースガ ヌー キーガ（包丁の音がとんとんするが何を切っているの）。アンマヤ カンカン キッチュスガ ヌー キーガ（お母さんはトントんと切っているが何を切っているの）。カンナイともいう。

カンナイ【副詞】 とんとん。まな板の上で調子よくものを刻むさま。カンカンともいう。

キーキー【副詞】 (1)きいきい。連続して発する甲高い音。門の開く音。硬いものが軽く何度もすれあう音。ジョントー アキーネー キーキー ナイン（門扉を開けるときいきい

鳴る)。(2)かっか。異物が喉につかえるさま。ユーヌ ギー ハカティ ヌデイ キーキースン (魚のとげがかかって喉がかっかする)。

ギーギー【副詞】 ぎいぎい。瀬戸ものなどのきしる音。

キーキカーカ【副詞】 かっかかっかと。食物や異物が喉につかえるさま。

キーナイ【副詞】 きいきいと。連続して発する甲高い音。硬いものが軽く何度もすれあう音。キーナイ スートゥ アンダ クワーシェー (きいきいと (音が) するから油を注せ)。

キーミカスン【動詞】 (自) きいっと鳴る。きいと音がする。甲高い音、硬いものがすれあう音が鳴る。ジョンター キーミカストゥ アキランタン (門扉がきいと鳴ったので開けなかった)。

ギシギシ【副詞】 (1)ぎしぎし。ものがきしむ音。ウヌ イスヤ ギシギシ ナイン (その椅子はぎしぎし鳴る)。(2)ぎりぎり。怒りや悔しさのために歯軋りをするさま。また、睡眠時に歯ぎしりするさま。パー ギシギシ クサミチュン。(歯をぎりぎりど憤る)。ユルーニントゥティ パー ギシギシ ナラスン (夜寝ていて、歯をぎりぎり鳴らす)。

ギシミカスン【動詞】 (自) (1)ぎしっときしむ。メービサ アトビサ アタランガ アタラ ギシミカスタン (四脚が合わなかったのか、ぎしっときしんだ)。(他) (2)ぎりっと歯軋りをする。

ギジャギジャ (1)【副詞】 ぎざぎざ。のこぎりの刃のように細かい刻み目が並んでいるさま。(1)【形】 ぎざぎざな。ぎざぎざの。アダニス パーヤ ギジャギジャシー テーシクン (アダンの葉はぎざぎざで、手を刺す)。

キッキリッキー【副詞】 こけこっこう。矮鶏 (ちゃぼ) の鳴き声。チャーマガ キッキリッキー ナクトゥ ユー アキサ (矮鶏がコケコッコと鳴いているから夜が明けるよ)。

キラキラ【副詞】 きらきら。星などが光りかがやくさま。ティンヌ プシガ キラキラピカイン (空の星がきらきら光っている)。

ギラギラ【副詞】 ぎらぎら。太陽が強く照り輝くさま。ティダヌ ギラギラ ピカティミーピカラハン (太陽がぎらぎら光ってまぶしい)。

ギラナイ【副詞】 ぎらぎら。太陽が強く照り輝くさま。ティダヌ ギラナイ ピカティミーピカラハヌ アッカラン (太陽がぎらぎら光ってまぶしくて歩けない)。

クークー【副詞】 ぼっぼ。ぼっぼ。鳩の鳴き声。ポートウイヤ クークーシ ナクン (鳩がぼっぼと鳴く)。

クークー【副詞】 しょぼしょぼ。まぶたを開くことができず、まばたいたりするさま。テレビ ミージューハヌ ミー クークー ナトゥン (テレビを見すぎて目がしょぼしょぼになっている)。ミーチンデー イジティ ミー クークー ナトゥン (ものもらいが出て目がしょぼしょぼになっている)。

クークー【副詞】 尻すぼみに。ウヌ ミチャ クークー ナティ アッキゴロホン (その

道は尻すぼみになって歩きにくい。

グーグー【副詞】 ぶつぶつ。不平を言うさま。クーン グーグーンカ アウイトウン（今日もぶつぶつばかり言っている）。トゥナイヌ オジサンヤ チャー グーグー サクン（隣のおじさんは何時もぶつぶつ言っている）。

グーグー【副詞】 ぐうぐう。ぐっすり眠るさま。グーグー ニンブン（ぐうぐう眠る）。

グーグー【副詞】 ふうふう。豚の鳴き声。鳴き叫ぶ時の声はガウエーガウエーという。ワー グーグー ナクンドー（豚がふうふう鳴いているよ）。

グーナイ【副詞】 ぐうぐう。ぐっすり眠るさま。グーナイ ニントウン。（ぐうぐう寝ている）。

グーナイ【副詞】 ふうふう。豚の鳴き声。ワース グーナイ ナクトゥ ムヌー クワーシェー（豚がふうふう鳴いているので餌を食わせろ）。

ゲーミカスン【動詞】（自）ふうっと鳴く。ワー ニントゥス チンヌチャートゥ ゲームカチ ウキタン（豚が寝ているのを突ついたのでふうっと鳴いて起きた）。

グーラバッター【副詞】 ぐらぐら。不安定で揺れ動くさま。

グェタグェタ【副詞】 べちゃべちゃ。雨後の道などがぬかるんでいるさま。アミ プイジューハヌ ミチ グェタグェタシ アッキン ナラン（雨がひどく降って、道がべちゃべちゃで歩くこともできない）。

グェングェン【副詞】 (1)どろどろ。ぬかるみのさま。ミチヌ グェングェン スン（道がどろどろである）。ミチヌ グェングェンシ アッキゴロホン（道がどろどろで歩きにくい）。(2)びしょびしょ。ひどくぬれているさま。(3)【形容詞】 どろどろな。どろどろの。ミチヤ グェングェン エン（道はどろどろだ）。

グェンナイ【副詞】 (1)びしょびしょ。グェンナイ ディータン（びしょびしょに濡れた）。クーヤ マギアミ プティ グェンナイ ディータン（今日は大雨が降ってびしょびしょに濡れた）。(2)どろどろ。ぬかるみのさま。

グェンナイ【副詞】 だらだら。アシー グェンナイ パイン（汗がだらだらと流れでる）。

クサクサ【副詞】 くさくさ。思うようにことが進まなかったり、腹立たしかったり、気がめいったりしているさま。アサラ ユーサンディマディ クサクサンカ スン（朝から晩までくさくさばかりしている）。

クサクササーヤ【名詞】 不平家。いつも不平ばかり言う人。ゴークチャーともいう。

クスクス【副詞】 くすくす。声をたてずに笑うさま。ヒー イジャサングトゥ クスクスワレイン（声を出さずにくすくす笑う）。

グスグス【副詞】 (1)ぜえぜえ。喘息などでせきこむさま。プミキ グスグス スン（喘息がぜえぜえする）。(2)ざくざく。野菜など物を切るさま。ポーチャチ タマナ グスグスキーン（包丁でキャベツをざくざく切る）。タマナ キーネヤ グスグス スン（キャベツ

を切ると、ざくざく音がする)。

グスナイ【副詞】 ざくざく。野菜など物をつづけて切るさま。ポーチャチ タマナ グスナイ キーン (包丁でキャベツをざくざく切る)。

グスマカスン【動詞】 (他) ざくっと切る。野菜などを一気に切る。ポーチャチ タマナ グスマカチ ターチンガティ キーン (包丁でキャベツをざくっと二つに切る)。

クタクタ【副詞】 ぐつぐつに。よく煮込んださま。ウブサーヤ クタクタ ニリワル マーハル (炒め煮はぐつぐつに煮たらおいしい)。

グタグタ【副詞】 (1)ぐうぐう。こんこん。よく眠るさま。グタグタ ニントゥヌ チューヤ ムヌウトゥー ワカラン (ぐうぐう寝ている人は物音がわからない)。(2)ぐつぐつ。ものがよく煮立っているさま。グタグタ タンガシワル マーハル (ぐつぐつたぎらせたらおいしい)。(3)ぐしょぐしょ。ぐっしょり。ひどく濡れているさま。アミー プティ ハリバーガ グタグタ ナトゥン (雨が降って枯葉がぐちゃぐちゃになっている)。

グタナイ【副詞】 ぐうぐう。こんこん。グタナイ ニントゥヌ チューヤ ムヌウトゥー ワカラン (ぐうぐう寝ている人は物音がわからない)。(2)ぐしょぐしょ。ぐっしょり。ひどく濡れているさま。アミー プティ ハリバーガ グタナイ ナトゥン (雨が降って枯葉がぐしょぐしょになっている)。

グチュグチュ【副詞】 こちょこちょ。人をくすぐるさま。ワーキンチャ グチュグチュスン (腋の下をこちょこちょする)。

クッカー【副詞】 親鶏がひなを呼びよせる声。ウヤドゥイガ クッカーシー クワー ユウン (親鶏がこっことひなを呼ぶ)。

クックルーウー【副詞】 こけこっこう。おんどりが夜明け前に鳴く鳴き声。クックルーウーチ ウードゥイガ ナクン (こけこっこうとおんどりが鳴く)。イチバンドゥイ (一番鳥)、ニバンドゥイ (二番鳥)、サンバンドゥイ (三番鳥) の鳴き声。

グッタトウ【副詞】 ぐったりと。くたくたに。疲れて手足の力が抜けたさま。ウタティ グッタトウ ナトゥン (疲れてくたくたになっている)。

クトウクトウ【副詞】 ぐつぐつ。ふつふつ。ものがよく煮えるさま。ピー チューク シクトウクトウ タンガシエー (火を強くしてぐつぐつ煮なさい)。グトゥグトゥともいい、こちらをよく使う。

グトゥグトゥ【副詞】 ぐつぐつ。ふつふつ。ものがよく煮えるさま。ピー チューク シグトゥグトゥ タンガシエー (火を強くしてぐつぐつ煮なさい)。クトウクトウともいう。

クトウナイ【副詞】 ぐつぐつ。ふつふつ。ものがよく煮えるさま。ピー チューク シクトウナイ タンガシエー (火を強くしてぐつぐつ煮なさい)。グトゥナイともいい、こちらをよく使う。

グトゥナイ【副詞】 ぐつぐつ。ふつふつ。ものがよく煮えるさま。グトゥナイ タンゲン

(ぐつぐつとたぎる)。クトゥナイともいう。

グマガサガサ【副詞】 ちょこちょこ。ちょいちょい。仕事などが間隔をおいて連続し、忙しいさま。シグトゥヌ ウポホヌ グマガサガサ イチュナハン（仕事が多くてちょこちょこ忙しい）。

グラグラ【副詞】 ぐらぐら。(1)ものが固定せず不安定なさま。クイ グラグラシ ウグクトゥ ナーピン ゲンノーチ ウッチェー（杭がぐらぐらと動くからもっとげんので打て）。パーヌ グラグラ ウグクン（歯がぐらぐら動く）。(2)ものが揺れ動くさま。今はゴトゴトともいう。ナウイ グラグラ イジュクトゥ、ハマドゥ ノーシェー（鍋がぐらぐら動くから、かまどを直せ）。ハンダイヌ ピサヌ グラグラシ アタラン（飯台の脚がぐらぐらとかみ合わない）。ネー ユティ、ヤー グラグラ スン（地震が来て、家がぐらぐらする）。

グルグル【副詞】 (1)ごろごろ。ぐるぐる。物の回転するさま。バスヌ ヒヤーガガ グルグル マーイン（バスの車輪がぐるぐる回る）。(2)目の回るさま。ミー グルグル シータタラン（目がぐるぐるして立てない）。(3)きょろきょろ。落ち着かず、あたりを見回すさま。ミー グルグル シー ハメイ（目をきょろきょろして探す）。ヌーガ ハメイラミー グルグル スン（何を探しているのか目をきょろきょろしている）。(4)ぱっちり。小児などの目のさま。ウヌクワーヤ ミー グルグルシ ウジラーハン（その子は目がぱっちりとかわいい）。

グワラグワラ【副詞】 ごろごろ。雷の鳴る音。クワラクワラともいう。グワラグワラともいう。

クワラナイ【副詞】 きらきら。ぴかぴか。耿々（こうこう）と。煌々と。ぎらぎら。まぶしく光り輝くさま。デントー クワラナイ シー ミー ピカラハン（電灯がこうこうとしてまばゆい）。ティーダ クワラナイ スン（太陽がぎらぎらしている）。クーヌ テイントーヤ プシヌ クワラナイ イジトゥン（今日の空は星がきらきらでている）。

クワラナイ【副詞】 ごろごろ。雷の鳴る音。ハンナミ クワラナイ シー ナイン（雷がごろごろと鳴っている）。グワラナイともいう。

グワラナイ【副詞】 (1)ざあざあ。じゃあじゃあ。水が勢いよく流れるさま。スイドーヌ ミジ グワラナイ パラハンクトゥ ピシク パラシェー（水道の水をじゃあじゃあ流さずに細く流せ）。

グワサグワサ【副詞】 (1)がやがや。どやどや。大勢の人が集まってそうぞうしいさま。大勢の人がそうぞうしく出入りするさま。グワサグワサ チューヌ アチマトゥン（がやがやと人が集まっている）。シバヤーラ グワサグワサ チューヌ イジティ クン（芝居からどやどや人が出て来る）。(2)うようよ。うじゃうじゃ。虫などがたくさんいるさま。たく

さんのものがうごめくさま。ウジムシ グワサグワサ イジユクン（うじ虫がうじゃうじゃ動く）。(3)ごちゃごちゃ。ものが雑多に入り混じって整理されていないさま。パクニ グワサグワサ イッチュス イジャセー（箱にごちゃごちゃ入っているのを出せ）。

グワサナイ【副詞】 (1)がやがや。どやどや。大勢の人が集まってそうぞうしいさま。大勢の人がそうぞうしく出入りするさま。チューヌ グワサナイ イッチ クン（人がどやどや入ってくる）。(2)うようよ。うじゃうじゃ。虫などがたくさんいるさま。たくさんさんのものがうごめくさま。ウジムシ グワサナイ イジトウン（うじ虫がうじゃうじゃ発生している）。(3)わんさと。どっさり。ものがたくさんあるさま。スクー グワサナイ トウティージェトゥ ハラス サーヤ（アイゴをどっさり取ったので塩辛にしよう）。(4)ごちゃごちゃ。ものが雑多に入り混じって整理されていないさま。オシレヌ ナハラ イジャチ、グワサナイ スン（押入れの中から出して、ごちゃごちゃしている）。

グワジャグワジャ【副詞】 うようよ。うじゃうじゃ。虫などがたくさんいるさま。たくさんさんのものがうごめくさま。グワサグワサともいう。

グワジャナイ【副詞】 うようよ。うじゃうじゃ。虫などがたくさんいるさま。たくさんさんのものがうごめくさま。グワサナイともいう。イッタ ヤーヤ カイゴ グワジャナイ ウイトウ イカラン（君の家は蚕がうじゃうじゃいるので行けない）。

クワタクワタ【副詞】 ぐつぐつ。ぐらぐら。煮物が煮え立ったり湯がたぎったりするさま。クトウクトウより泡立ちが大きい。アリアリ、シルー クワタクワタ タンゲン（ほらほら、汁がぐらぐらたぎっている）。

グワタグワタ【副詞】 ぐつぐつ。ぐらぐら。煮物が煮え立ったり湯がたぎったりするさま。クワタクワタともいう。

クワタナイ【副詞】 ぐらぐらと。ぐつぐつと。煮物が煮え立ったり湯がたぎったりするさま。クワタナイ タンゲン（ぐらぐらとたぎる）。クワンナイともいう。

クワチャクワチャ【副詞】 ぶんぶん。かんかん。ひどく腹を立てて機嫌の悪いさま。クサミチ クワチャクワチャ スン（腹が立ってぶんぶんしている）。

クワラクワラ【副詞】 ごろごろ。雷の鳴る音。ハンナミー クワラクワラ ナイン（雷がごろごろ鳴っている）。グワラグワラともいう。

クワラクワラ【副詞】 ぴかぴか。きらきら。光り輝くさま。ピカピカより明るくランプなどにはいわない。デンキヌ クワラクワラ シカトウン（電気がぴかぴか点灯している）。ピカラピカラともいう。

グワラグワラ【副詞】 ごろごろ。雷の鳴る音。ハンナミヌ グワラグワラ ナテイ タマス ヌギタン（雷がごろごろ鳴って腰をぬかした）。クワラクワラともいう。グワラグワラともいう。

グワラナイ【副詞】 ごろごろ。雷の鳴る音。ハンナミヌ グワラナイ ナテイ タマス

ヌギタン（雷がごろごろ鳴って腰をぬかした）。グワーラナイともいう。

クワンクワン【副詞】 福福と。福福しく。上品で威厳のあるさま。中年以上の男の、ゆったりとして立派なさま。福々しいことなどをいう。アヌチューヤ クワンクワン トウ シ
ウブラーハン（彼は福福しくて威厳がある）。

クワンクワン【副詞】 ぼろぼろ。ぐしゃぐしゃ。物がひどく壊れ形がそこなわれているさま。
ドーグヌ ヤンビティ クワンクワン ナティ シカララン（道具が壊れてぼろぼろで使
えない）。ドーグヌ クワンクワン ナイヤカ ヤンビトゥン（道具がぼろぼろになるほど
壊れている）。ヤンビ（破れ）と組合わさってヤンビクワンクワンと使われることがある。

グワングワン【副詞】 どんどん。があんがあん。太鼓など鳴り物の音。祭り・綱引き・村
芝居などで太鼓など鳴り物を鳴らした。幸喜には銅鑼鉦がなかった。パタガシラ タティ
ンディチ チジミ グワングワン ナラスン（旗頭を立てようと太鼓をどんどんと鳴らす）。

クワンナイ【副詞】 (1)ぐつぐつ。ぐらぐら。煮物が煮え立ったり湯がたぎったりするさま。
ヤクワン クワンナイ ムゲーイン。（やかんがぐらぐら沸騰している）。クワタナイとも
いう。クワンナイをよく使う。(2)ざあざあ。ごうごう。水がはげしく流れるさま。ミジヌ
クワンナイ ナガリン（水がごうごう流れる）。

グワンナイ【副詞】 (1)どんどん。があんがあん。太鼓などの鳴り物をはげしく鳴らすさま。
パタガシラ タティンディチ チジミ グワンナイ ナラスン（旗頭を立てようと太鼓を
どんどんと鳴らす）。(2)ぐんぐん。グワンナイ トゥーレー（ぐんぐん走れ）。(3)ざあざあ。
ごうごう。水がはげしく流れるさま。ウプアミー プティ ハーラヌ ミジ グワンナイ
ナガリン（大雨が降って川の水がざあざあ流れる）。

クンクン【副詞】 ずうずう。鼻がつまったさま。パナー チマティ クンクン スン（鼻
が詰まってずうずうする）。

ケーケー【副詞】 こけこっこう。めんどりの鳴き声。ケーケー ナクスガ パウ イッチ
ェンテー（こけこっこうと鳴いているが、ハブが入っているのだろう）。

ゲーゲー【副詞】 げえげえ。人が嘔吐するさま。ゲーナイともいう。ヌーガ カダラ ゲ
ーゲー パクン（何をたべたか、げえげえ吐く）。ユフナ ムヌー カディ ゲーゲー パ
クン（変なものを食べてげえげえ吐く）。

ゲーナイ【副詞】 げえげえ。人が嘔吐するさま。ヌーガ カダラ、ゲーナイ パクン（何
をたべたのか、げえげえ吐く）。カダス ブル ゲーナイ パッチャン（食べたのを全部げ
えげえ吐いた）。

ケッケレーケー【副詞】 こけこっこう。めんどりの鳴き声。ケッケレーケー ナクスガ
パウ イッチェンテー（こけこっこうと鳴いているが、ハブが入っているのだろう）。

ケレンケレン【副詞】 ちりんちりん。からんからん。鈴やちいさな鉦などが連続してなる
音。トープウヤガ ケレンケレン ナラチャクン（豆腐売りがちりんちりと鳴らしてい

る)。

ケンケン【副詞】 ちりんちりん。からんからん。鉦の音。幸喜には鉦はなかった。

ゴーゴー【副詞】 ごうごう。海なりの音、またはそのさま。または、大雨の後の川の流れるさま。アミ プイジューハヌ ハーラヌ ミジ ゴーゴー ナガリトゥン (雨が強く降って川の水がごうごうと流れている)。

ゴーゴー【副詞】 ぐっすり。ぐうぐう。よく眠るさま。ゲーゲーともいう。ゴーゴー ニンティ パナー ナラスン (ぐっすりと寝ていていびきをかく)。

コーコーコー【副詞】 こけこっこう。雌鳥が雛を呼ぶときの鳴き声。

ゴーナイ【副詞】 ごうごう。海なりの音、またはそのさま。大雨の後の川の流れるさま。ピガ ゴーナイ ナイトゥ ハジ プクン (宜野座の方がごうごうと鳴るので台風がくる)。アミ プイジューハヌ ハーラヌ ミジ ゴーナイ ナガリトゥン (雨が強く降って川の水がごうごうと流れている)。

ゴーナイ【副詞】 ぐっすり。ぐうぐう。よく眠るさま。ゲーナイともいう。ゴーナイ ニンティ ワカラン (ぐっすりと寝ていて気がつかない)。

コーロナイ【副詞】 ころころ。ボールなどが転がるさま。ボールヌ コーロナイ マーイン (ボールがころころ転がる)。

コケーコッコー【副詞】 こけこっこう。鶏の鳴き声。アリ、コケーコッコー ナクンドー (ほら、こけこっこうと鳴いているよ)。

コッコーコッコー【副詞】 くっくっ。鶏の鳴き声。雛を呼ぶ声。コッコーコッコーシ クワー ユウン (くっくっと雛を呼ぶ)。

コットンコットン【副詞】 たぶたぶ。たくさんの水が容器の中で揺れ動くさま。また、その音。ウーキヌ ミジガ コットンコットン ナイン (桶の水がたぶたぶ鳴る)。

コットンミカスン【動詞】 (自) たぶんと揺れ動く。たくさんの水が容器の中で揺れ動く。

コテーコッコ【副詞】 こけこっこう。雌鳥が卵をうんだときの鳴き声。

ゴトゴト【副詞】 がたがた。設置した器物の安定が悪く音が出るさま。センタク ウワイラ ゴトゴトスン (洗濯が終わるのか、がたがたする)。ゴトゴト イジユクン (がたがた動く)。

ゴトミカスン【動詞】 (自) がたがたする。がたっと鳴る。ゴトミカスースガ センタクヌ ウワイガ スーラ (がたがたしているが、洗濯が終わるのだろうか)。

コホコホ【副詞】 ほうほう。ほっほう。フクロウ科のリユウキユウコノハズクとリユウキユウアオバズクの鳴き声。シコホガ コホコホ ナキネー ヤクー エン (リユウキユウコノハズクがこほこほ鳴いたら厄だ)。

ゴホンゴホン【副詞】 ごほんごほん。咳の声。アマサガ アイラ サックイ ゴホンゴホン スン (調子が悪いのか咳をごほんごほんとする)。

コロコロ【副詞】 ころころ。ボールなどが転がるさま。ボールヌ コロコロ マーイン（ボールがころころ回る）。

ゴロゴロ【副詞】 (1)ごろごろ。腹の調子が悪いさま。ウムー カダトゥ ワタ ゴロゴロ スン（芋を食べたから、おなかがごろごろする）。シーダトゥス カデイ ワター ゴロゴロ シ ワタヤンビ スン（饅えたものを食べて腹がごろごろと腹痛がする）。ムヌ クェー ジョーホヌ ワター ゴロゴロ スン（飯を食いすぎたのか腹がごろごろ鳴る）。(2)ぐうぐう。空腹で腹がなるさま。ヤーハネン ゴロゴロ スータン（空腹時にもぐうぐう鳴った）。ヤーハヌ ワタ ゴロゴロ ナイン（空腹で腹がぐうぐう鳴る）。

ゴロゴロ【副詞】 だらだら。これといったことをせず、怠けていたり、体を横たえたりするさま。シグトゥン サン ヤンティ ゴロゴロ テレピンカ ムン（仕事をしないで家でごろごろテレビばかり見ている）。

ゴロゴロ【副詞】 ゆるゆる。ぶかぶか。ものに隙間があってゆるいさま。ウヌ イービガ ニヤ シナラス ゴロゴロ スン（その指輪は合わないので、ゆるゆるしている）。ズボンヌ ゴムガ ヌディ ゴロゴロ スン（ズボンのゴムがのびてぶかぶかだ）。

ゴロゴロ【副詞】 ごろごろ。物が転がるさま。ゴール ゴロゴロー マーシェー（輪をごろごろ回せ）。ゴロゴロ ミグイジャーハン（ごろごろよく回せる）。

ゴロナイ【副詞】 (1)ごろごろ。腹の調子が悪いさま。ワタヌ ゴロナイ ナイタン（腹がごろごろ鳴った）。(2)ぐうぐう。空腹で腹がなるさま。ヤーハヌ ワター ゴロナイ スン（空腹で腹がぐうぐうしている）。

ゴロナイ【副詞】 ごろごろ。物が転がるさま。ゴール ゴロナイ マーシェー（輪をごろごろ回せ）。

コロミカスン【動詞】 (自) ころっと転がる。ボールヌ スケイ コロミカスン。（ボールが一度ころっと転がる）。

ゴロミカスン【動詞】 (自) ぐうっと鳴る。空腹で腹がぐうっと鳴る。アッタニ ワター ゴロミカスタン（急に腹がぐうっと鳴った）。

コンコン【副詞】 (1)こんこん。つづけて咳をするさま。サックイ コンコン スン（咳をこんこんする）(2)ぐうぐう。いびきをかくさま。パナー コンコン プクン（鼻をぐうぐうふく）。

ゴンゴン【副詞】 どんどん。すたすた。とことこ。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。ゴンゴン アックン（どんどん歩く）。ゴンゴン ウーイン（どんどん追いかける）。タンカー ウワティ ゴンゴン アックン（1才になってとことこ歩く）。

ゴンゴン【副詞】 ごつんごつん。硬いもの同士が打ち当たるときの音。また、そのさま。クサミチ ツクエ ゴンゴン ウッチェン（腹を立てて机をごつんごつん打つ）。

コンナイ【副詞】 (1)こんこん。つづけて咳をするさま。(2)ぐうぐう。いびきをかくさま。ヤ

クミヌ パナー コンナイ プチ ニンバラン (兄がいびきをぐうぐうかいて寝られない)。

ゴンナイ【副詞】 ごつんごつん。硬いもの同士が打ち当たるときの音。また、そのさま。

クサミチ ポーチ ゴンナイ スグイン (腹を立てて棒でごつんごつん殴る)。

ゴンナイ【副詞】 どんどん。すたすた。とことこ。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。

健脚のさま。ゴンナイ アックン (どんどん歩く)。ゴンナイ ウーイン (どんどん追いかける)。

コンミカスン【動詞】 (自) こんと咳をする。コンミカスースガ ヌディ カシマラハル
アインナー (こんと咳をしているが喉がおかしいのかな)。

ゴンミカスン【動詞】 (他) ごつんと叩く。ポーチ チブル ゴンミカスン (棒で頭をごつんと叩く)。

サーサー【副詞】 そわそわ。気持ちがおちつかないさま。キム サーサーシ ワサミクン
(気持ちがそわそわしていらつく)。キム サーサーシ イチン タッチン ウララン (気
持がそわそわして居ても立ってもいられない)。

サーサー【副詞】 しゃあしゃあ。クマゼミの鳴く声。また、そのさま。アーサンサガ サ
ーサー ナクン (クマゼミがしゃあしゃあ鳴く)。サンサンともいう。

サーナイ【副詞】 しゃあしゃあ。クマゼミの鳴く声。また、そのさま。アーサンサガ サ
ーナイ ナクン (クマゼミがしゃあしゃあ鳴いている)。サンサンともいう。

サーラサーラ【副詞】 ざあざあ。じゃあじゃあ。水などがよどみく流れるさま。ミジヌ
サーラサーラ ナガリトゥン (水がざあざあ流れている)。

サーラナイ【副詞】 (1)ざあざあ。じゃあじゃあ。水が勢いよく流れるさま。また、雨が激
しく降るさま。ミジ サーラナイ パイン。(水がざあざあ流れる)。ハーラヌ ミジガ
サーラナイ ナガリン (川の水がさらさらと流れる)。ウプアミー サーラナイ プイン (大
雨がざあざあ降っている)。(2)すいすい。滞りなくすすんでいくさま。コーソクドーロンテ
イヤ クルマヌ サーラナイ パトゥン (高速道路では車がすいすい流れている)。(3)さら
さら。すらすら。文字などをよどみなく書くさま。アリヤ ワカイジャーハヌ サーラナ
イ ピントースン (あいつはよく分かるのですらすら返答する)。(4)ばらばら。小さなもの
が連続して落ちるさま。ハジヌ チューハヌ キーヌ パーヌ サーラナイ ウティン (風
が強くて木の葉がばらばら落ちる)。

サパサパ【副詞】 ばさばさ。食べ物などの粘り気、水分のないさま。イクサ アトゥヌ
アミリカグミヤ サパサパシ マーク ネンタン (戦争の後のアメリカ米はパサパサして
おいしくなかった)。ウヌ クワーシヤ サパサパシ マーク ネン (そのお菓子はばさば
さしておいしくない)。

サラサラ【副詞】 さらさら。すらすら。文字などをよどみなく書くさま。

サラサラ【副詞】 しこしこ。さらさら。固めに。ご飯や麺など食物の水分が少なくておい

しいさま。クヌ ソーミンヤ ユゲチャーハヌ サラサラ ナトゥン（今日のそうめんは弱めに茹でたので、しこしこになっている）。クヌ メーヤ サラサラ ニレー（今日の飯は固めに炊け）。

サラナイ【副詞】 固めに。しこしこ。さらさら。ご飯や麺など食物の水分が少なくておいしいさま。クヌ メーヤ サラナイ ナティ マーハン（今日のご飯は固めでおいしい）。

サラミカスン【動詞】（自）固めになる。さらっとなる。クヌ メーヤ サラミカチクパハン（今日のご飯はさらっとして固い）。

サンサン【副詞】 そわそわ。気になることなどがあって落ち着きのないさま。ウヌ クワーヤ サンサン シー ウティシキ ネーン（その子はそわそわして落ち着きがない）。サンサン シー マッチェン（そわそわして待っている）。

サンサン【副詞】 しゃあしゃあ。クマゼミの鳴く声。また、そのさま。ナチヤ アーサンサガ サンサン ナクン（夏はクマゼミがしゃあしゃあ鳴く）。サーサーともいう。

サンジャン【副詞】 散々。ひどく。チャーチャニ サンジャン ヌララタン（父にひどくおこられた）。サンジャン フルハタン（散々なぐられた）。

サンジャンクンジャン【副詞】 さんざん。ばらばら。めちゃくちゃ。こまかくばらばらになるさま。ワライヌ カビ サンジャンクンジャン ヤイン（子どもが紙をめちゃくちゃにやぶる）。ヤーンチュガ ドーグ サンジャンクンジャン チラカチェン（家族が道具をめちゃくちゃに散らかしてある）。

ジージー【副詞】 じんじん。病気や怪我などで患部が痛むさま。ジージーシ ハタチブルヤムン（じんじんと偏頭痛がする）。

ジージー【副詞】 じいじい。クロイワニイニイの鳴き声。

ジーナイ【副詞】 じんじん。病気や怪我などで患部が痛むさま。ティー ジーナイシ ヤムン（手がじんじんと痛む）。チブル ジーナイ ヤムン（頭がじんじん痛む）。

ジーワジーワ【副詞】 クロイワツクツクの鳴き声。

ジェージェー【副詞】 (1)だらだら。よだれや汗などが垂れながれるさま。ウリヤ ユダイジェージェー タリトゥン（そいつはよだれがだらだらと垂れている）。アシヌ ジェージェー パイン（汗がだらだら流れる）。(2)べちゃべちゃ。だぶだぶ。水気が多すぎるさま。ウヌ オカズヤ シル ジェージェーシ マーク ネン（そのおかずは汁がべちゃべちゃしておいしくない）。

ジェーナイ【副詞】 だらだら。よだれや汗などが垂れながれるさま。ウリヤ ユダイジェーナイ タイン（そいつはよだれがだらだらと垂れる）。

シカシカ【副詞】 (1)ぱちぱち。しきりに目を閉じたり開いたりするさま。アヌ チューヤピッチー ミー シカシカ スン。（あの人はしょっちゅう目をぱちぱちさせる）。(2)ちかちか。ちくちく。目が刺激されて断続的に痛むさま。ミンチャウ イッチャトゥ シカシ

カ シー ヤムン (目にごみが入ってちかちかと痛む)。

シカシカ【副詞】 おどおど。不安、おそれ、自信のなさなどで落ち着かないさま。シカシカ シーネ ヌーン ナラン。(おどおどしたら何も出来ない)。ウヌ チューヤ シワグ トウガ アイラ、シカシカシ ウティシキ ネーン (その人は心配事があるのか、おどおどと落ち着きがない)。シカムカともいう。

シカムカ【副詞】 おどおど。不安、おそれ、自信のなさなどで落ち着かないさま。シカムカ シーネ ヌーン ナラン。(おどおどしたら何も出来ない)。シカシカともいう。

シクシク【副詞】 しくしく。声をあげずにすすりあげて泣くさま。アンマーガ ケーティ カントウ クワーヌ シクシク ナクン (お母さんが帰ってこないので子どもがしくしく泣く)。

シクナイ【副詞】 しくしく。声をあげずにすすりあげて泣くさま。ウヌ クワーヤ ヤーハガ アイラ シクナイ ナクン (その子は腹がすいているのか、しくしく泣く)。

ジタジタ【副詞】 べちゃべちゃ。じめじめ。水を含んでひどく濡れているさま。道などのぬかるんでいるさま。ジャカジャカともいう。アミー プティ ミチ ジタジタシ アッキゴロホン (雨が降って道がべちゃべちゃと歩きにくい)。

シプシプ【副詞】 じとじと。じめじめ。ぬれて湿っているさま。アシー パティ キヌー シプシプシ ケーリワル エル (汗をかいて服がじめじめして替えなければいけない)。

シプナイ【副詞】 じとじと。じめじめ。ぬれて湿っているさま。アシー パティ キヌー シプナイ デイトウン (汗をかいて服がじとじとになっている)。

ジャカジャカ【副詞】 じめじめ。べちゃべちゃ。水を含んでひどく濡れているさま。道などのぬかるんでいるさま。ジタジタともいう。

ジャクジャク【副詞】 ぐちゃぐちゃ。びしょびしょ。水分を多く含んで濡れたり、ぬかるんでいるさま。アミプイヌ アトゥヤ ミチヌ ジャクジャク ナティ アッキゴロホン (雨降りのあとは道がぐちゃぐちゃになって歩きにくい)。シプイヨーハヌ シル ジャクジャク スン (絞り足りなくてびしょびしょだ)。

ジャクナイ【副詞】 ぐちゃぐちゃ。水分を多く含んで濡れたり、ぬかるんでいるさま。ミチヌ ジャクナイ スン (道がぐちゃぐちゃしている)。アミプイヌ アトゥヤ ミチヌ ジャクナイシ アッキゴロホン (雨降りのあとは道がぐちゃぐちゃして歩きにくい)。

シリシリ【副詞】 (1)ずるずる。足などを擦るようにして移動したり、引きずったりするさま。マニ シリシリ シー アックン (お尻をずるずる引きずって歩く)。ピサ シリシリ シー アックン (足をずるずるひきずって歩く)。ピサシリシリのように一語にもいう。(2)ごしごし。すったりこすったりしてものを軽くこすりあわせるさま。ミー シリシリ シーン (目をごしごし擦る)。ミーシリシリのように一語にもいう。(3)大根やにんじんなどを千切りのように細くおろすさま。クーヤ デークニ シリシリシ オカズ スコティ

カムン（今日は大根をごしごしおろして、おかずを作って食べる）。

ジンジン【副詞】 じんじん。患部が絶え間なく痛むさま。（頭などを強打して）目から火が出ること。チブル ウッチ、ミー ジンジン スン（頭を打って、目がじんじんする）。ミージンジンのように一語のようにもいう。

スーイスーイ【副詞】 ちょびちょび。ちょびりちょびり。少しずつ。数量は少ないが何度も繰り返されるさま。アタラハシー スーイスーイ カマスン（もったいながってちょびちょび食べさせる）。スーテーシ スーイスーイ ジニー トウラスン（節約して少しずつ金を渡す）。

スースー【副詞】 (1)しょぼしょぼ。目がはっきりと開かないさま。ミークスー タティミーヤ スースー ナトゥン（目やにがでて目はしょぼしょぼになっている）。(2)うっすら。目を細めること。ハタミー スースー シール パカイル（片目をうっすら細めて測るんだ）。(3)すうすう。すきまなどから風が入るさま。ダーラガラ ハジヌ スースー イッチピーハン（どこからか風がひゅうひゅう入って寒い）。

スタスタ【副詞】 さくさく。適切な固さのものをつづけて切るさま。デアクニ スタスタキーン（大根をさくさく切る）。

スタナイ【副詞】 さくさく。適切な固さのものをつづけて切るさま。デアクニ スタナイキーン（大根をさくさく切る）。

スタマカチ【副詞】 さくっと。適切な固さのものを一気に切るさま。デアクニ スタマカチキーン（大根をさくっと切る）。

スタマカスン【動詞】（自）つるっと滑る。ぬかるみなどでつるっと滑る。ナンブラハヌ スタマカチ ドウゲリタン（すべっこくてつるっと滑って転んだ）。

スッタミカスン【動詞】（自）つるっと滑る。ぬかるみなどでつるっと滑る。ナンブラハヌ スッタミカチ アパケーリタン（すべっこくてつるっと滑ってひっくり返った）。

スプトウ【副詞】 びっしょり。ぐっしょり。ひどくぬれたさま。スプトウ デイーテイイキシルー ナトゥン（びっしょり濡れてずぶ濡れになっている）。

スプナイ【副詞】 びっしょり。ぐっしょり。ひどくぬれたさま。スプナイ デイーテイイキシルー ナトゥン（びっしょり濡れてずぶ濡れになっている）。

スルスル【副詞】 (1)つるつる。物がなめらかにすべるさま。ローソク ヌイネ ヤードウ スルスルー アキジャーハタン（ろうそくを塗ると戸がつるつると開けやすかった）。スルスルシ ナンプラハン（つるつるとなめらかだ）。スルスルシ シンディリン（つるつるとすべる）。(2)するする。なめらかにすべり動くさま。イーチュヌ スルスル パンディン（糸がするするはずれる）。(3)によろによろ。するする。蛇などがくねりうごくさま。パウヌ キーラ スルスル ウリン（蛇が木からによろによろおる）。すばやくなめらかに移動進行する様子。

ソーソー【副詞】 (1)ざあざあ。水が勢いよく流れるさま。ミジヌ ソーソー ナガリン (水がざあざあ流れる)。(2)だくだく。ぼろぼろ。汗や涙などがさかんに流れるさま。アシヌ ソーソー パイン (汗がだくだく流れる)。ウヌ パナシヤ ナチカハヌ ナダー ソーソー パイン (その話は悲しくて涙がぼろぼろ出る)。

ソーソー【副詞】 そわそわ。落ち着かないさま。トゥナイヌ クワーヤ ソーソー ナテイ アマシカミ マーシカミ シー トゥーティ アックン (隣の子はそわそわして、あちこち触って歩き回る)。

ソーナイ【副詞】 (1)ざあざあ。水が勢いよく流れるさま。スイドーナ ミジ ソーナイ バラスン (水道の水をざあざあ流す)。(2)ずるずる。だらだら。液体のたれるさま。パナダイ ソーナイ パイン (涙がだらだら流れる)。

ソーロソーロ【副詞】 (1)さらさら。よどみなく流れるさま。ミジヌ ソーロソーロ ナガリン (水がさらさら流れる)。(2)するする。なめらかに移動、進行するさま。パウヌ ソーロソーロ ピニギティ イクン (蛇がするする逃げて行く)。(3)すらすら。なめらかに出るさま。アンチ パナシヌ ソーロソーロ イジティ クン ムヌヤー。(よく、そう話がすらすらと出て来るものだねえ)。

ソーロナイ【副詞】 (1)さらさら。ざあざあ。じゃあじゃあ。よどみなく流れるさま。アミ プティ ハーラス ミジ ソーロナイ ナガリン (雨が降って川の水がさらさら流れる)。ミジ ピチピチ サンゴト ソーロナイ イジャシェー (水をちょびちょび出さずにじゃあじゃあ出せ)。(2)するする。なめらかに移動、進行するさま。パウヌ ソーロナイ アックン (蛇がするする這いあるく)。(3)すらすら。なめらかに出るさま。アリガ パナシ シーワカラヤ パナシヌ ソーロナイ イジン (あいつが話をしたら話がすらすら出てくる)。
ダーラクワーラ【副詞】 だらだら。ものごとのきりをつけず、しまりなく続けるさま。シグトゥー ダーラクワーラ サングトゥー ガサナイ シェー (仕事をだらだらとしないで、さっさとしろ)。

ダーラクワッター【副詞】 だらだら。ものごとのきりをつけず、しまりなく続けるさま。ダーラクワッター サングトゥー ハク シェー (だらだらしないで、早くしろ)。

タクタク【副詞】 くちやくちや。口の中で音を出して食べ物などを噛むさま。ガム タクタク カダクン (ガムをくちやくちや噛んでいる)。タクタク シーヤ カムナ (くちやくちやさせて食べるな)。タクタク ウトゥ ナラハングトゥー カメー (くちやくちや音を鳴らさずに食べる)。

ダクダク【副詞】 (1)むかむか。気分が悪くて、吐き気がするさま。吐き気がするほどしゃくにさわる、腹立たしいさま。ヌーガ カダラ ミニ ダクダク スン (何を食べたのか胸がむかむかする)。ヌーガラ アンマサヌ ダクダク スン (なにやらだるくてむかむかする)。プネイシ ダクダクシ ムヌ パキブサン (船酔いでむかむかして吐きたい)。サ

ク イジティ キム ダクダク スン (腹が立って胸がむかむかする)。(2)どきどき。ざわざわ。期待、不安、恐怖のためにおちつかないさま。ドゥーヌ バン ミグティ チュー トゥ ミニ ダクダク スン (自分の出番が回ってくるので、胸がどきどきする)。シワグ トゥ アイネ シワシ ミニ ダクダク スン (心配事があると心配で胸がざわざわする)。**タクナイ【副詞】** くちゃくちゃ。口の中で音を出して食べ物などを噛むさま。ガムンカ タクナイ カドゥン (ガムばかりくちゃくちゃ噛んでいる)。アヌ チューヤ クチ タク ナイ シー カムン (あの人は口をくちゃくちゃして食べる)。

ダブダブ【副詞】 だぶだぶ。ぶかぶか。がばがば。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。トゥシー トゥティ キヌヤ ブル ダブダブ ナティ キララン (年をとって服は全部だぶだぶになって着られない)。

ダブナイ【副詞】 だぶだぶ。ぶかぶか。がばがば。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ダブナイ ナティ キーブサク ネン (その服はだぶだぶになって着たくない)。

タラタラ【副詞】 たらたら。(1)粘り気のある液体が連続してしたたるさま。ユダイ タラ タラ イジトゥ ユダイ バキハキタン (よだれがたらたらと出るのでよだれを吐きかけた)。アンダー タラタラ タラスン (油をたらたらと垂らす)。(2)あくびや不平などを続けるさま。アクビ タラタランカ シーヒャー (あくびばかりをたらたらしやがって)。

ダラダラ【副詞】 だらだら。(1)液体がだらだら続いて流れるさま。アシヌ ダラダラ ナ ガリン (汗がだらだら流れる)。チーヌ ダラダラ スースガ ヤマシル サンナー (血がだらだらしているが、怪我したのか)。(2)ものごとのきりがつかずに続くさま。クーマディヌ ヒガリ エトゥ ダラダラ サングトゥ パラレー (今日までの日限だから、だらだらしないで払え)。ヤンメーヤ チャー ダラダラシ ノーラン (病気はずっとだらだらして治らない)。アリニ シミネヤ ダラダラ スートゥ アリニヤ シミララン (彼にさせるとだらだらするので、彼にはさせられない)。キヌヤ ダラダラ アミヌ プイタスガ クーヤ パリトゥン (昨日はだらだらと雨が降ったが、今日は晴れている)。

タラナイ【副詞】 たらたら。粘り気のある液体が連続してしたたるさま。アンダー タラ ナイ パラスン (油をたらたらと流す)。ロースクヌ アンダー タラナイ タリトゥン (ろうそくの蠟がたらたらと垂れている)。

タンタン【副詞】 くちゃくちゃ。口の中で音を出して食べ物などを噛むさま。タンタンシムヌ カマンケー (くちゃくちゃものを食うな)。

チカチカ【副詞】 (1)ちくちく。目が刺激されて断続的に痛むさま。チブル ヤムスガ ミー マディ チカチカ スン (頭が痛い、目までちかちかする)。(2)ちかちか。強い光が目刺激するさま。ティダヌ チューハヌ ミー チカチカ スン (日差しが強くて目がちかちかする)。このばあい、ミーチカチカと一語のようにもいう。

チカナイ【副詞】 ちくちく。目が刺激されて断続的に痛むさま。チブル ヤムスガ ミーマディ チカナイ スン（頭が痛い、目までちかちかする）。

チクチク【副詞】 ちくちく。つづけて刺激を感じたり、あたえたりするさま。何回も小刻みに刺すさま。針の先で何度も刺されるような痛みを感覚的にまたは心情的に感じるさま。

チクマカスン【動詞】（自）ちくっとする。

チャーラナイ【副詞】 じゃあじゃあ。じゅうじゅう。油で炒めたり揚げたりするさま。チャーラナイ イリチ カメー（じゃあじゃあと炒めて食べる）。ティンプラ チャーラナイ ヤチ カムン（天ぶらをじゃあじゃあ揚げて食べる）。

チャクチャク【副詞】 ちゃかちゃか。行儀が悪くて落ち着きがないさま。そそっかしいさま。おっちょこちょいなさま。チャクチャクンカ シー ウティシキ ネーン（ちゃかちゃかばかりして落ち着きがない）。

チャチャ【副詞】 しとしと。小雨が降りつづくさま。アミー チャチャ プトゥン（雨がしとしと降っている）。チラチラともいう。

チャナイ【副詞】 しとしと。小雨が降りつづくさま。チャチャを多く使う。

チャラチャラ【副詞】 じゃあじゃあ。じゅうじゅう。油で炒めたり揚げたりするさま。チャラチャラ イリチ カメー（じゃあじゃあと炒めて食べる）。

チューチュー【副詞】 ちゅうちゅう。(1)口に含んでしゃぶる。吸うようにしてなめる。トゥビカ フパハヌ チューチュー スプレー（するめいかは堅いので、ちゅうちゅうしゃぶれ）。(2)ねずみの鳴き声。チューチュー ナクスガ、ヌー エガヤー（ちゅうちゅう鳴くが、なんだろう）。

チョンチョン【副詞】 ぼたぼた。ぼたりぼたり。ぼろぼろ。汁やしずくがしたたるさま。涙が流れ落ちるさま。アマダイミジ チョンチョン ウティン（雨垂れがぼたりぼたり落ちる）。ガラン シミテラントウ ミジヌ チョンチョンシ タリトゥン（カランをしめてないので、水がぼたぼたと垂れている）。ナダー チョンチョン スン（涙がぼろぼろする）。

チラチラ【副詞】 しとしと。小雨が降りつづくさま。アミー チラチラ プイトウ ヤマニ イカラン。（雨がしとしと降るので、山に行けない）。チャチャともいう。

チラチラ【副詞】 ちかちか。強い光が目刺激するさま。ミーピカラハヌ ミー チラチラ スン（眩しくて目がちかちかする）。チカチカともいう。

チラナイ【副詞】 しとしと。小雨が降りつづくさま。チラチラを多く使う。

チリチリバラバラ【副詞】 ちりぢりばらばら。(1)離散したさま。ヤーニンジュ ブル チリチリバラバラ ナタン（家族がみんなちりぢりばらばらになった）。(2)ばらばら。分散しておこなうさま。ウヌ シグトゥヤ チリチリバラバラ ナティ シーワル ナイル（その仕事はばらばらになってするのがいい）。単にバラバラともいう。

チンチン【副詞】 (1)ぴいちく。チンチナー（ひばり）のさえずる声。(2)ジャコウネズミの

鳴き声。ミックワビーチャガ ジョーラ チンチン ナチ ヤンガティ キーネ、ジニー
イッチクン(リュウキュウジャコウネズミがちんちん鳴いて家に来ると、お金が入ってくる)。
チンピー【副詞】 さしばの鳴き声。チンピーディチ ナクタヌ トウイヤ ナマヤ キチ
マン(ちんぴいと鳴いた鳥は近頃は来ていない)。

チンミカス【動詞】 (自) ちゅうと鳴く。ジャコウネズミがちゅうと鳴く。チンミカチ
ナクタシガ、ヌー エガヤー(ちゅうと鳴いたが、何だろう)。

ツルツル【副詞】 つるつる。なめらかなさま。チブルヌ パギティ ツルツル ピカトゥ
ン(頭が禿げてつるつるにひかっている)。チブルヤ ツルツル シー テンパギ ナトゥ
ン(頭はつるつると丸禿げになっている)。ナンブテーミ ナティ ツルツル ナトゥン(滑
らかになってつるつるになっている)。

テンテン【副詞】 ペンペン。三味線を鳴らす音。サンシン テンテン ナラスン(三味線
をペンペン鳴らす)。

テンテンパチパチ【副詞】 とんとん。ばちばち。とんとんばちばち。繰り綿をやわらかく
するために綿打ち弓で打つ音。ウジミグワーヌ タンメーガ テンテンパチパチ ウード
ウ ウッチュタン(大宜味の爺さんがとんとん布団を打った)。

ドウサドウサ【副詞】 どさどさ。大勢の人が歩くさま。チューガ カッサン アッチ ド
ウサドウサ ピサウトウ スン(人が大勢歩いて、どさどさ足音がする)。

ドウサナイ【副詞】 どさどさ。大勢の人が歩くさま。チューガ カッサン ドウサナイ
アックン(人が大勢どさどさ歩く)。

ドウサミカス【動詞】 (自) どしんと音を立てる。ウボホヌ ドウサミカチ ウトゥチ
ャン(重くてどしんと音を立って落とす)。

トウルトウル【副詞】 (1)うつらうつら。眠気がさしているさま。テレビ マーガチー ト
ウルトウル ニーブイ スン(テレビを見ながらうつらうつら眠気がさしている)。(2)とろ
とろ。火の勢いが弱いさま。ナンシキ サングトゥ トウルトウル メーシェー(焦げな
いようにとろとろ燃やせ)。

トウルトウル【形容詞】 にぶい。とろい。反応がにぶいさま。アヌ チューヤ チブル
トウルトウル エン(あの人は頭がとろい)。

ドウルドウル【副詞】 どろどろ。泥のように軟らかいさま。水分が多く、粘り気のあるさ
ま。ミジヌ ウボホヌ ドウルドウルシー ティンプラー アギララン(水が多くてどろ
どろして天ぶらが揚げられない)。アミー プティ ミチー ドウルドウル ナティ アッ
キゴロホン(雨が降って道がどろどろになって歩きにくい)。

トゥントウンテン【副詞】 ペンペン。三線を鳴らす音。サンシンヌ ウトゥガ トウン
トウンテン ナイン。(三線の音がペンペン鳴っている)。サンシンヌ トウントウンテンガ
パジマトウンドーヤー(三線のペンペンが始まっているよ)。**【名詞】** 三線。トゥントウン

テン バジマイン。(三線が始まる)。

トントン【副詞】 とんとん。つづけて軽く叩いたり打ったりするさま。ダルガラ ヤードウ トントン タタクスガ ダル ヤガヤー (誰か戸をとんとん叩くが、誰だろう)。マクー トントン ウッチュン (脈がとんとん打っている)。

ドンドン【副詞】 (1)どんだん。つづけて強く叩いたり打ったりして音のでるさま。チジミ ドンドン ウテー (太鼓をどんだんと打て)。(2)どきどき。驚いたり緊張したりして胸がどきどきするさま。マーガガ ニチ イジティ シワシ ミニ ドンドン スン (孫が熱を出して心配で胸がどきどきする)。トゥーティジャトウ イキ プチ ミニマディ ドンドン スン (走ってきたら息が上がって胸までどきどきする)。ミニドンドンと一語のようにもいう。(3)どんだん。ぐんぐん。勢いよく進むさま。ドンドン アッケー (ぐんぐん歩け)。ドンドン トゥーレ (ぐんぐん走れ)。

ドンナイ【副詞】 (1)どんだん。つづけて強く叩いたり打ったりして音のでるさま。チジミ ガ ドンナイ ナトゥン (太鼓がどんだん鳴っている)。(2)どんだん。ぐんぐん。勢いよくつぎつぎ進むさま。ヨンナー サングトゥー ドンナイ シーワ (ゆっくりしないでどんだんしろ)。マンドウトウ ドンナイ カメー (たくさんあるからどんだん食べろ)。《参》ドンドンよりドンナイの方がやや強くてはげしい。

ドンミカスン【動詞】 (他) (1)どんと鳴らす。スケイ ドンミカチ ナラサワ トゥーレー (一度どんと鳴らしたら走れ)。(自) (2)どんと鳴る。ヤードウ ドンミカスタシガ ヌー エガヤー (戸がどんと音を立てたが何だろう)。ムイラ イシガ ウティティ ドンミカスタン (杜から石が落ちてどんと鳴った)。

ナガダラダラ【副詞】 ものごとのきりがつかずに長く続くさま。ナガダラダラシー ハクノーラン (長だらだらと早く治らない)。

ヌクヌク【副詞】 よちよち。とことこ。小刻みでおぼつかなく歩くさま。ワライヌ ヌクヌク アックン (子どもがよちよち歩く)。プープガ アマラ ヌクヌク クンドー (おじいちゃんが向こうからとことこ来るよ)。※無意志的な動作をあらわす。

ヌタヌタ【副詞】 ねとねと。食物の表面がねばりつくさま。ウヌ ムチヤ アシー パティ ヌタヌタ シー ウカハヌ カマランサ (その餅は傷みはじめてねとねとして怪しくて食べられないよ)。

ヌルヌル【副詞】 ぬるぬる。ぬらぬら。ぬめりや油気などですべるさま。アンダヌ シカティ ケーウチ ヌルヌル スン (油を付いて小皿がぬるぬるしている)。アンダー ヌルヌルシ ユーチル アラライル (油がぬるぬるして湯でしか洗えない)。

ヌルントウルン【副詞】 (1)のろのろ。のそのそ。動作ののろいさま。トゥシー トウイネブル ヌルントウルン ナイサ (年をとるとみんなのろのろになるよ)。(2)ぼんやり。ぼうっと。とろとろ。寝起きでぼうっとしているさま。気持ちが集中していないさま。ウキテ

イ チャーキヤ ミー チューラヌ ヌルントウルン スン (起きたばかりは目がさえず、とろとろする)。シーヨー ワカラヌ ヌルントウルン スン (やり方がわからなくてぼうっとしている)。

バーナイ【副詞】 ぼうぼう。さかんに火の燃えるさま。ピーヌ バーナイ メーイン (火がぼうぼう燃える)。タムヌ ハリティ バーナイ メーイン (薪が枯れてぼうぼう燃える)。

ハーハー【副詞】 はあはあ。大きく息をするさま。イキ ハーハー スン (息をはあはあする)。トゥーティ イジャトゥ イキ ハーハー プクン (走って行ったので息をはあはあ吹いている)。アワタティ チャートゥ イキ プチ ハーハー スン (あわてて来たので息をはあはあしている)。アマラ トゥーティジャトゥ ハーハー シ イキ プクン (むこうを走ってきたので、はあはあと息をしている)。

バーバー【副詞】 ぼうぼう。ぼさぼさ。草や髪が乱雑に伸び繁っているさま。ハラジ バーバー ナトゥトゥ アンダー シキレー (髪がぼさぼさになっているから、油をつけない)。

バーバー【副詞】 (1)びゅうびゅう。びゅうびゅう。ひゅうひゅう。風が激しく吹くさま。またその音。ハジヌ バーバー プクン (風がびゅうびゅう吹く)。クーヤ ハジバーバー シ ワジャー ナラン (今日は風がびゅうびゅうで、仕事ができない)。(2)ぼうぼう。火が勢いよく燃えるさま。バーバー メーイン (ぼうぼう燃える)。

パーパー【副詞】 ぽっぽ。かっかと。むっと。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。ドゥー ブル パーパーシ クチハン (全身が(熱で)かっかして苦しい)。チラー パーパー スースガ ニチャ ネーンシェー (顔がぽっぽとしているが、熱でもあるんじゃないか)。ヤーヌ ナハ パーパーシー プミクトゥ ヤードゥ シキアキレー (家の中がむっと蒸しているから、戸を開け放て)。

パーラナイ【副詞】 銃弾などをばらばらと発射するさま。銃弾などがばらばらと発射するさま。

パーラナイ【副詞】 ざあざあ。雨などがばらばらと降るさま。アギジャビヨー。ウツピヌ アミー パーラナイ プトゥン (あらまあ。大きな雨がばらばらと降っている)。

パカナイ【副詞】 ばかばか。ぼかぼか。からころ。どんどん。かたいもの同士が打ち当たるさま。パカナイ ウッチュン (ばかばか打つ)。マーガ パカナイ アククン (馬がばかばか歩く)。ミーアシジャ クディ パカナイ ナラチ アククン (新下駄を履いてからころ鳴らして歩く)。テーク パカナイ ウッチュン (太鼓をどんどん打つ)。

ハガハガ【副詞】 むずむず。うずうず。やりたくてたまらず落ち着かないさま。チューガスース ミチ ドゥーマディ シーブサヌ ハガハガ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてうずうずする)。

パカパカ【副詞】 ばかばか。ぼかぼか。からころ。どんどん。かたいもの同士が連続して

打ち当たるさま。テーク パカパカ タタクン (太鼓をどんでん叩く)。マーガ パカパカ シー アックン (馬がばかばかと歩く)。

パクナイ【副詞】 (1)ぱくぱく。大きく口を開閉するさま。クチ パクナイ スン (口をぱくぱくする)。ウヌ クワーヤ クチ パクナイ スン (その子は口をパクパクしている)。(2)べらべら。とりとめのないことをしゃべるさま。ムヌンカ パクナイ アウイン (おしゃべりをべらべらいう)。(3)ぱくぱく。ものの食べ方がさかなさま。ムヌー パクナイ カムン (食べ物をぱくぱく食べる)。ワカハスタヤ ムヌー パクナイ カムン (若い者たちはご飯をぱくぱく食べる)。(4)おかぶか。しきりに煙草をふかすさま。タワク パクナイ ブクン (煙草をおかぶか吸う)。

パクパク【副詞】 (1)ぱくぱく。大きく口を開閉するさま。クチ パクパク アキン (口をぱくぱく開ける)。(2)べらべら。ぺちゃくちゃ。とりとめのないことをしゃべるさま。ムヌンカ パクパク アウイン (おしゃべりをべらべらいう)。(3)ぱくぱく。ものの食べ方がさかなさま。アリガ ムヌ カミカタヤ クチ パクパク ナラスン (あいつのものの食べ方は口をぱくぱくならず)。(4)おかぶか。しきりに煙草をふかすさま。タワク パクパク ブクトウ クサハン (煙草をおかぶか吸うので、臭い)。

バタナイ【擬】 ぐしょぐしょ。ぐっしょり。ひどく濡れているさま。ウードウガ アミニ ディーティ バタナイ ナトゥン (布団が雨に濡れてぐしょぐしょになっている)。グタグタともいう。

パタナイ【副詞】 ぱたぱた。手足や羽が早く動くさま。軽いものがうちあたるさま。またその時の音。プカグミアッキー スースガル パタナイ ナラスン (がに股歩きをする人がぱたぱた鳴らす)。ハジガ チューハヌ アライムヌ パタナイ トゥウン (風が強くて洗濯物がぱたぱたはためく)。イユーヤ トゥティ チャーキヤ パタナイ ウグクン (魚は捕ってばかりはぱたぱた動く)。ティーピサ パタナイ ウグカスン (手足をぱたぱた動かす)。

バタバタ【副詞】 忙しく、慌しくことをおこなうさま。ヤーヤ イチュナハヌ チャーバタバタ スン。(お前は忙しくて、ずっとぱたぱたしている)。

バタバタ【擬】 ぐしょぐしょ。ぐっしょり。ひどく濡れているさま。グタグタともいう。アミハジヌ チューハヌ バタバタ ディートゥン (風雨が強くてびしょびしょに濡れている)。

パタパタ【副詞】 (1)ぱたぱた。何かをしようとしてあせること。シコイ ワッサヌ パタパタ ウティシカン (準備が悪くて、ぱたぱた落ち着かない)。(2)ぱたぱた。手足や羽が早く動くさま。軽いものがうちあたるさま。またその時の音。サワ クディ パタパタ アックン (ぞうりを履いてぱたぱた歩く)。トゥイガ パニゲー パタパタ ナラスン (鳥が羽をぱたぱた鳴らす)。ハジガ チューハヌ アライムヌ パタパタ トゥウン (風が強く

て洗濯物がばたばたはためく)。イユーヤ トウテイ チャーキヤ パタパタ ウグタン (魚は、捕ったばかりはばたばた動く)。

パタンパタン【副詞】 とんとん。とんからり。布を織るさま。ヌヌ パタンパタン ウイン (布をとんからりと織る)。

パタンミカスン【動詞】 (他) とんと織る。ヌヌ スケインカ パタンミカスン (布を一度だけとんと織る)。

パチナイ【副詞】 (1)ばちばち。小さく、軽いものが連続して合わさるさま。(2)ばちばち。あわただしく瞬きをするさま。上下のまぶたをあわただしくあけたり閉じたりするさま。(3)ぱっちり。目を大きくみひらくさま。ニーブイ サングトゥ ミー パチナイ アキレー (居眠りしないで目をぱっちりあける)。(4)ほきほき。枯れ枝などが折れるさま。ティーチ パチナイ ウータン (手でほきほき折った)。

パチナイ【副詞】 (1)びしびし。びしっと。厳しく容赦なくおこなうさま。ウヌ クワーヤ ムヌイーシキー キカントゥ パチナイ イーシキレー (その子はいつけを聞かないから、びしびし命令しろ)。パチナイ ナラストゥ ウビヤッセン (びしびし教えるから、覚えやすい)。(2)どんどん。次々に。とどこおりなくものごとが進むさま。パチナイ ウビン (どんどん覚える)。

パチパチ【副詞】 びしびし。厳しく容赦なくおこなうさま。ウヌ クワーヤ イユース キカントゥ パチパチ イーシキレー (その子は言うことをきかないからびしびし命令しろ)。

パチパチ【副詞】 (1)ばちばち。小さく軽いものが連続して合わさるさま。シバイガ ウワタトゥ ブルガ ティー パチパチ タタチャン (芝居が終わったのでみんなが手をばちばちたたいた)。(2)ばちばち。あわただしく瞬きをするさま。上下のまぶたをあわただしくあけたり閉じたりするさま。ミー ピカラハヌ ミー パチパチ スン (まぶしくて目をばちばちする)。ミーパチパチと一語のようにもいう。(3)ほきほき。枯れ枝などが折れるさま。ハリギーヤ パチパチシー ウーイヤッセン (枯れ木はほきほきと折りやすい)。イービ パチパチ ナラスン (指をほきほき鳴らす)。

パチャナイ【副詞】 (1)ばちばち。小さく、軽いものが連続して合わさるさま。(2)あわただしく瞬きをするさま。上下のまぶたをあわただしくあけたり閉じたりするさま。(3)ほきほき。枯れ枝などが折れるさま。ティーチ パチャナイ ウータン (手でほきほき折った)。

パツタラゲー【副詞】 ばたばた。じたばた。人や生き物がある状態から逃れようと体や手足などを動かしてもがくさま。イキユース パツタラゲーシ ハシミララン (生魚がばたばたして捕まえられない)。ウヌ チューヤ パツタラゲー スースガ ヌー エガヤー (その人はばたばたしているが、何だろう)。

パツタンパツタン【副詞】 ばたんばたん。ばたばた。何度も連続してものがうちあたるさま。また、その音。パツタンパツタン ヌヌ ウタン (ばたんばたんと機を織った)。ハジ

ヌ チューハヌ、 バタ パッタンパッタン スーワン (風が強くて、旗がぱたぱたとしている)。

パッパ【副詞】 ふうふう。自動車の警笛の音。クルマヌ パッパディチ ナラチ エージュスン (車がふうふうと鳴らして合図する)。

バラバラ【副詞】 ばらばら。離散したさま。乱れちらばっているさま。ヤーンチュガ ドーグ バラバラ チラチェン (家族が道具をばらばらに散らかしてある)。ワライガ トケインクワー バラバラ ナチェン (子どもが腕時計をばらばらにしてある)。

バンナイ【副詞】 じゃんじゃん。どんどん。勢い良く連続して行うさま。バケツチ ミジバンナイ ハヤシェー (バケツで水をじゃんじゃん運べ)。ワーナイともいう。

パンナイ【副詞】 (1)ぼっぼ。かっかと。むっと。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。チラ パンナイ スン (顔がぼっぼとする)。チラー アカデイ ニチー パンナイ スン (顔が赤らんで熱がぼっぼとしている)。(2)ほうほう。火がさかんに燃えるさま。ピー パンナイ メーイン。(火がほうほうと燃える)。(3)とんとん。ぱちぱち。平たいものを軽く続けて打つさま。ダルガ ヤラ ヤードゥ パンナイ ウチュン (誰やら戸をどんどん打つ)。イター パンナイ タタクン (板をとんとん叩く)。(4)ぼんぼん。花火が続けざまにうちあがるさま。ハナビ パンナイ アガトゥン (花火がぼんぼんあがっている)。

バンバラー【副詞】 がらんと。家具などがなく空虚で寂しく広いさま。ヤーヤ マギハスガ ドーグ ネーヌ バンバラー ナトゥン (家は大きいが、家具がなくてがらんとなっている)。

パンパン【副詞】 (1)ぼっぼ。かっかと。むっと。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。ニチヌ パンパン イジトゥ サージ ダーチ ピグラスン (熱がかっかとでるので手拭いをぬらして冷やす)。(2)とんとん。ぱちぱち。平たいものを軽く続けて打つさま。ダルガラ ヤードゥ パンパン ウチュン (誰か戸をどんどん打つ)。ティー パンパン ウチュン (手をぱちぱち打つ)。(3)ぼんぼん。花火が続けざまにうちあがるさま。ハナビ パンパン アガトゥン (花火がぼんぼんあがっている)。

パンパン【副詞】 ほうほう。火がさかんに燃えるさま。ピーヌ パンパンシ メートゥン (火がほうほうと燃える)。パンパンシ メースンとは言わない。

ピーナイ【副詞】 びいびい。笛の音。ティーブラー ピーナイ ナラスン (指笛をびいびい鳴らす)。

ヒーヒー【副詞】 くすくす。ひそかに笑うさま。小さな声で笑うさま。ヒーヒー シナガテングワ ワライン (くすくすとこっそり笑う)。

ピーピー【副詞】 ぴいぴい。生活が苦しいさま。貧乏なさま。アッタ ヤーヤ ナマ ピーピーシ クマトゥン (彼らの家は今ぴいぴいして困っている)。ジニー ネーヌ ピーピー

ー スン (金がなくて、びいびいしている)。

ピーピー【副詞】 ずるずる。風邪をひいたときなどの涙の鳴る音。パナ ピーピー スー
スガ カジェル ヒチュンナ (涙がずるずるしているが風邪をひいたのか)。ヤー パナ
ピーピー スー
スガ、アンマサル アインナ (君は涙がずるずるしているが、具合悪いの
か)。アヌ チュー パナ ピーピー スートゥ アリガ パラニヤ ウランケ (あの人涙
をずるずるしているの、彼のそばにはいるな)。

ピーピー【副詞】 びいびい。笛の音。ティーブラー ピーピー ナラスン (指笛をびいび
い鳴らす)。

ピーピカーカ【副詞】 びいびい。生活が苦しいさま。貧乏なさま。アッタ ヤーヤ ナマ
ピーピカーカーシ クマトウン (彼らの家は今びいびいして困っている)。アッターヤ ナ
マ ピーピカーカ スン (彼らは今びいびいしている)。ピーピカーカヌ ナゲ ナイン (貧
乏が長い)。ピーピカーカヌ ナガハヌ クマトゥサヤー (びいびいが長くて困っている
ね)。

ピーポーピーポー【副詞】 ピーポー。救急車などのサイレンの音。ピーポーピーポー ナ
イスガ、ダーヌ ヤー ヤガヤー (ピーポーピーポー鳴っているが、どこの家だろう)。

ビーリナイ【副詞】 びりびり。布や紙などが裂けやすいさま。破れやすいさま。プクタギ
ヌヤ ビーリナイ ヤリジャーハン (襤褸 (ほろ) 服はびりびりに破れやすい)。ティッシ
ュヤ ビーリナイ ヤリヤッサン (ティッシュはびりびりに破れやすい)。

ピーリナイ【副詞】 びりびり。びちびち。水気のある柔らかいものがひねり出されるさま。
カミジューハヌ クスー ピーリナイ マイン (食べ過ぎて便をびりびり出す)。ウヌ マ
ヨネーズヤ チューク ウサーシネ ビーリナイ イジン (そのマヨネーズは強く押すと、
びりびりと出る)。

ピカナイ【副詞】 (1)ぴかぴか。きらきら。光り輝くさま。プシヌ ピカナイ ピカイン。(星
がぴかぴか光る)。(2)ぴかぴか。艶があって光るさま。ミードケイ エトゥ ピカナイ ピ
カイン (新しい時計だからぴかぴか光っている)。クラク ススタトゥ ピカナイ ピカト
ウン (きれいに拭いたので、ぴかぴかに光っている)。ピカピカともいう。

ピカピカ【副詞】 (1)ぴかぴか。きらきら。光り輝くさま。クーヌ ティントーヤ プシヌ
ピカピカ スン (今日の空は星がきらきらしている)。ピカナイ、ピカラピカラ、キラキラ
ともいう。(2)ぴかぴか。艶があって光るさま。ピカピカ ナイマディ ススレー (ぴかぴ
かになるまで拭け)。ピカナイ、ピカラピカラともいう。

ピカラピカラ【副詞】 (1)ぴかぴか。きらきら。光り輝くさま。ピカピカより明るい。プシ
ヌ ピカラピカラ スン (星がぴかぴかする)。デンキガ ピカラピカラ シカトゥン (電
気がぴかぴか点灯している)。(2)ぴかぴか。艶があって光るさま。ミームヌヤ ブル ピカ
ラピカラ ピカトゥン (新品は何でもぴかぴか光っている)。シナ ハキティ ワラジャラ

チ アライネ ピカラピカラ ナイン (砂をかけて藁だわしで洗うとびかぴかになる)。ク
ワラクワラともいう。

ピクナイ【副詞】 びくびく。とくとく。体の一部がふるえ動くさま。シンゾー ピクナイ
ウグクン (心臓がとくとく動く)。ピクピクより強い。

ピクピク【副詞】 びくびく。とくとく。体の一部がふるえ動くさま。マクヌ ピクピク
ウグクン (脈がびくびくうつ)。シンゾー ピクピク ウグクン (心臓がとくとく動く)。

ピグルコーコー【副詞】 冷え冷え。食物などが冷え冷えになったさま。ウヌ チャンプル
ヤ ピグルコーコー ナティ。アチェラチ カメー (その炒め物は冷え冷えだ。温めて食
べる)。

ピシナイ【副詞】 ずきずき。脈打つように痛むさま。パーヌ ピシナイ ヤムン (歯がず
きずき痛む)。

ピシピシ【副詞】 (1)ひしひし。びしびし。びしびし (非難などが) 胸にこたえるさま。ア
リガ クトウバヤ ピシピシ ミニニ アタイン (彼の言葉はひしひし胸にあたる)。ピシ
ピシ ヌクン (びしびし指摘する)。(2)びしびし。びしびし。鞭や棒などで何度もうつさま。
ピシピシ スグレー (びしびしと殴れ)。(3)ずきずき。脈打つように痛むさま。パーヌ ピ
シピシ ヤムン (歯がずきずき痛む)。(4)びくびく。体の一部がふるえ動くさま。ミーガー
ピシピシ スン (まぶたがびくびくする)。

ピシピシヤミー【名詞】 ずきずき痛み。脈打つような痛み。ティーヌ ピシピシヤミー
スン (手がずきずき痛みする)。

ヒタナイ【副詞】 びしびし。びしびし。罰を与えて何度も打つさま。チュー ヒタナイ
ピーゲン (人をびしびし打つ)。

ヒタナイ【副詞】 しなしな。木や竹などの弾力があるさま。人については言わない。

ヒタヒタ【副詞】 びしびし。びしびし。罰を与えて何度も打つさま。チュー ヒタヒタ
ピーゲン (人をびしびし殴る)。

ビタビタ【副詞】 (1)しなしな。木や竹などの弾力があるさま。人については言わない。ウ
ヌ キーヤ ビタビタシ グサニ ナラン (その木はしなしなして杖にできない)。ウマヌ
バシヤ ビタビタ ウグクトウ ワタイネ ウトゥラハン (その橋はしなしなと動くから、
渡るとき怖い)。(2)ふわふわ。布などが柔らかいさま。ティッシュン ビタビタシ ヤパラ
ハン (ティッシュもふわふわして柔らかい)。

ピチピチ【副詞】 みしみし。しなっと。木製のものに力が加わり、たわんだりきしんだり
するさま。ネー ユティ ヤーガ ピチピチシ ウグクン (地震がきて家がみしみしうご
く)。ニーガ ウボホヌ ポーガ ピチピチ タマトウン (荷が重くて棒がしなっとたわん
でいる)。

ピチピチ【副詞】 ちびちび。ちょびちょび。お金やものを少しずつ出すさま。アヌ チュ

ーヤ イビスー ナティ ジニー ピチピチ イジャスン (あの人はけちでお金をちびちび出す)。ミジ ピチピチ サンゴト ソーロナイ イジャシェー (水をちよびちよび出さずに、ざあざあ出せ)。ピチャピチャともいう。

ピチピチ【副詞】 ぴちぴち。ぱたぱた。元気で勢いよく動くさま。ウヌ イューヤ ピチピチシ ナーマ イキチュン (その魚はぱたぱたしてまだ生きている)。ワカハヌ ムヌヤ ピチピチ シー イキウィー アイン (若い者はピチピチして勢いがある)。

ピチャピチャ【副詞】 ちびちび。ちよびちよび。お金やものを少しずつ出すさま。ワッタ オッカヤ クジケー ピチャピチャ トウラスン (うちの母は小遣いをちよびちよび渡す)。アマヌ ヤーヤ クワッキー ピチャピチャ イジャスン (あの家はごちそうをちびちび出す)。

ピッキリピッキリ【副詞】 ちよびちよび。細かく。少しずつ。小刻みに。小さく。わずかずつ何度もするさま。いくつにも小さく切れたさま。こまぎれにすること。ムチ エティン ピッキリピッキリ シー カムン (餅でもちびちびと食べる)。ムチ エティン ピッキリピッキリ ポーチャチ キチ カマチャン (餅でも包丁で小さく切って食べさせた)。カタヌ ジニヤ ピッキリピッキリ スーテーシ パライン (借りた金は少しずつやりくりして払う)。

ピッパイカップパイ【副詞】 ごわごわ。糊などがかたくくっついて離れないさま。ヌーイン シキジャーハヌ ピッパイカップパイ タックワティ アカハラン (糊もつけすぎてごわごわにくっついて引き剥がせない)。パナ ヌグタトゥ スディニ シカティ ピッパイカップパイ ナトゥン (涙を拭いたら、袖についてごわごわになっている)。ヌーイ タックワーチャトゥ ピッパイカップパイ シー ノーシゴロホン (糊をつけたので、ごわごわになって直しにくい)。

ヒューヒュー【副詞】 ひゅうひゅう。口笛の音。ヒューヒュー シー ユウン (口笛でひゅうひゅうと呼ぶ)。

ヒューミカスン【動詞】 (他) ひゅうっと鳴らす。口笛などをひゅうっと鳴らす。アマカラ チューヌ チュー スーキチ ヒューミカチ ユウン (向こうから来る人を口笛でひゅうっと鳴らして呼ぶ)。

ピヨピヨ【副詞】 ぴよぴよ。ひよこの鳴き声。主として鶏の雛の鳴き声。ウヤ ウーティ ピヨピヨ ナチャクン (親を追ってぴよぴよ鳴っている)。

ビラビラ【副詞】 へなへな。ぐにゃぐにゃ。ふにゃふにゃ。柔らかく力のないさま。プーブヤ ヨーガリティ ビラビラ アックン (祖父は痩せてへなへな歩く)。チョコレート ティダニ トウラティ ビラビラ トウキトゥン (チョコレートが日に当たってふにゃふにゃに溶けている)。タードーシウムヤ クガリティ ビラビラ ヤパラーハヌ マーハン (休耕田で作った甘藷は糖化して柔らかくておいしい)。

ビリビリ【副詞】 びりびり。布や紙などが裂けやすいさま。破れやすいさま。ブクターヤ
ブルディ ビリビリ ナティ ヤリジャーハン（襦袢（ほろ）は古んでびりびりで破れや
すい）。

ピリピリ【副詞】 びりびり。びちびち。水気のある柔らかいものがひねり出されるさま。
カミジューハヌ クスー ピリピリ マイン（食べ過ぎて便をびりびり出す）。ウヌ マヨ
ネーズヤ チューク ウサーシネ ピリピリ イジン（そのマヨネーズは強く押すとびり
びりと出る）。

ピリピリスン【動】 腹をくだす。下痢をする。ヌーガ カダラ ウヌ クワー クスー
サギティ ピリピリスン（何を食べたのかその子は腹をくだしている）。

ピリンパラン【副詞】 (1)ぺちやくちゃ。べらべら。おしゃべりするさま。ピリンパラン
ムヌンカ ユムン（ぺちやくちゃおしゃべりばかりする）。(2)べらべら。外国語（わけのわ
からない外国語）をしゃべるさま。アヌ チューヤ ウランダグチ ピリンパラン ユム
ン（あの人は西洋語をべらべら話す）。

ヒン【副詞】 ちいん。涙をかむときの音。ヒン シェー（涙をかめ）。

ヒンミカスン【動詞】（他）鼻をかむ。パナ チマトウトウ ヒンミカシェー（鼻がつま
まっているから鼻をかめ）。

ファーファー【副詞】 ぼっぼ。かっかと。むっと。ほかほか。体などが熱をもっているさ
ま。また、暑さのために室内が蒸すさま。パーパーともいう。ワッタ クワーヤ パナシ
キ ハカティ ニチ ファーファーシ ニントウン（うちの子は風邪をひいて熱がかっか
として寝ている）。チューガ ニンティヌ アトヤ ウードウ ファーファー スン（人が
寝たあとはふとんがほかほかしている）。

フィーナイ【副詞】 ひゅうひゅう。口笛の音。スーキー フィーナイ ナラスン。（口笛
をひゅうひゅう鳴らす）。

フィーフィー【副詞】 ひゅうひゅう。口笛の音。スーキー フィーフィー ナラスン。（口
笛をひゅうひゅう鳴らす）。

ブーナイ【副詞】 (1)じゃんじゃん。どんどん。がんがん。勢いよく連続して行なうさま。
イシ ブーナイ ナギン（石をじゃんじゃん投げる）。

ブーナイ【副詞】 もくもく。煙がさかんに立ち上るさま。ヌーガ メースラ キブシヌ
ブーナイ イジン（何を燃やしているのか、煙がもくもく出ている）。

ブーナイ【副詞】 (1)ふうふう。屁の音。ブーナイ ピー ピーン（ふうふう屁を放る）。
(2)ふうふう。唇をすぼめて息を勢いよく吹くさま。イキ ブーナイ プクン（息をふうふ
う吹く）。ミーニ グミ イッチャトウ ブーナイ プチャトウ ノータン（目にゴミが入
ったのでふうふう吹いたら治った）。

フーフー【副詞】 ふうふう。口をすぼめてくりかえし息をふきかけるさま。小児が痛がる

箇所へ、痛くないまじないとして、親などがフーフーと息を吹きかけてやった。イキ フーフー プチ ノースタン (息をふうふう吹いて治した)。

ブーブー【副詞】 ぶんぶん。羽虫が飛び回るさま。ペー ブーブー トウドウン (蠅がぶんぶん飛んでいる)。ペー ブーブーシ カマラン (蠅がぶんぶんたかって食べられない)。ブンブンともいう。

ブーブー【副詞】 もくもく。煙がさかんに立ち上るさま。ヌーガ メースラ キブシヌ ブーブー イジン (何を燃やしているのか、煙がもくもく出ている)。

ブーブー【副詞】 (1)ふうふう。屁の音。プープー ピー ピースヤ ハジャサン (ふうふうと屁を放るのは臭わない)。(2)ふうふう。口をすぼめてくりかえし息をふきかけるさま。イキ プープー プクン (息をふうふう吹く)。

プーマカスン【動詞】 (他) (1)ふうっと鳴らす。ピー プーマカチ ピータン (屁をふうっと放った)。(2)ふうっと吹く。

プーミカスン【動詞】 (他) (1)ふうっと屁を放る。ピー プーミカチ ピッチャン (屁をふうっと放った)。(2)ふうっと吹く。プーミカチ ピー カースン (ふうっと吹いて火を消す)。プーミカチ プクシミー プキトゥワスン (ふうっと吹いて埃を吹き飛ばす)。ミーニ グミ イッチャトゥ プーミカチャトゥ ノータン (目にゴミが入ったので、ふうっと吹いたら治った)。

ブーラバツタイ【副詞】 ふらふら。よろよろ。よろめいて歩くさま。サキ スデイ ブーラバツタイシ アクン (酒を飲んでふらふら歩いている)。

フェーフエー【副詞】 はあはあ。息をきらしてあえぐさま。ハーハーともいう。トゥーテイ イジャトゥ イキ フェーフエー スン (走って行ったので、はあはあ息が切れる)。

プガナイ【副詞】 なみなみと。たっぷりと。量的に十分なさま。容器にたっぷりといれたさま。ユフルヌ ミジ プガナイ イリレー (風呂の水をたっぷり入れろ)。

プカプカ【副詞】 (1)ふかふか。やわらかく膨らんでいるさま。ウードゥ プチャトゥ プカプカ シー ニンビヤッセン (布団を干したので、ふかふかして眠りやすい)。ウードゥ プシネ プカプカ スン。(布団を干したらふかふかする)。(2)ほこほこ。朽木などが柔らかくなっているさま。キーヌ クサリテイ プカプカ ナトゥン (木が腐ってほこほこになっている)。ペットボトル ハラ ナテイ プカプカ スン (ペットボトルが空になってほこほこしている)。

プガプガトゥ【副詞】 なみなみと。たっぷりと。量的に十分なさま。容器にたっぷりといれたさま。メーマカイニ プガプガトゥ イリレー (飯碗にたっぷりといれろ)。ユフルヌ ミジ プガプガトゥ イリレー (風呂の水をたっぷり入れろ)。

ブクブク【副詞】 ぶくぶく。泡立つさま。ガニガ アー ブクブク プチュン (蟹が泡をぶくぶくと吹いている)。ビール コップニ チギネ アー ブクブク イジン (ビールを

コップに注ぐと、泡がぶくぶく出る)。

ブタナイ【副詞】 べたべた。べっとり。粘り気のあるものがくっついているさま。ドゥルー ブタナイ タックワトゥン (泥がべっとりくっついている)。ドゥルー シカティ ブタナイ ナトゥン (泥がついてべたべたになっている)。

ブタブタ【副詞】 べたべた。べっとり。粘り気のあるものがくっついているさま。ドゥルー ブタブタ タックワトゥン (泥がべっとりくっついている)。ドゥルー シカティ ブタブタ ナトゥン (泥がついてべたべたになっている)。

プチナイ【副詞】 ほきほき。ぷつぷつ。ユダダムヌ プチナイ ウーティ メーシェー (柴薪をほきほき折って燃やせ)。

プチン【副詞】 物が折れたり、または切れたりする音。

ブッタークワッター【副詞】 べたべた。べっとり。粘り気のあるものがくっついているさま。アヌ クワーヤ ピング ブッタークワッター タックワトゥン (あの子は汚れがべっとり付いている)。

ブッタマカスン【副詞】 ふうっと鳴く。ウワー ニントウス チンヌチャートウ ブッタマカチ ウキタン (豚が寝ているのを突っついたら、ふうっと鳴いて起きた)。

ブッタミカスン【動詞】 (自) ふうっと鳴く。ウワー ニントウス チンヌチャートウ ブッタミカチ ウキタン (豚が寝ているのを突っついたらふうっと鳴いて起きた)。

ブテナイ【副詞】 でっぷり。ぽっちゃり。太っているさま。ウヌ クワーヤ ブテナイ クェーティ ウジラーハン (この子はぽっちゃりと太っていてかわいい)。

ブテブテ(一)トウ【副詞】 でっぷり。ぽっちゃり。太っているさま。ブテブテトウ クェートウン (でっぷりと太っている)。ウヌ クワーヤ ブテブテトウ クェーティ ウジラーハン (この子はぽっちゃりと太ってかわいい)。

ブトゥナイ【副詞】 とろとろ。ねとねと。粘り気のある液状のもの。ミリキングニ ミジイッティ ブトゥナイ タレレー (メリケン粉に水を入れて、ねとねとに混ぜ合わせろ)。ブトゥナイ スーヌ ワーユーヤ マーハン (とろとろしている重湯はおいしい)。ワーア ンダヤ アチラシネヤ ブトゥナイ ナイン (ラードは熱したら、とろとろになる)。シミー イミシキ シーネヤ ブトゥナイ スン (墨を思いっきり磨ると、とろとろする)。

ブトゥブトゥ【副詞】 とろとろ。ねとねと。粘り気のある液状のもの。シミー ブトゥブトゥ タレリワル ジーヤ ハカイル (墨をとろとろに練ったら字は書ける)。ミジヌ イキラハヌ ブトゥブトゥ スートウ テインプラヤ ヤカラン (水が少なくてねとねとしているから、天ぷらは揚げられない)。

ブトゥブトゥ【副詞】 うずうず。むずむず。(1)むずむず。歯がゆく、もどかしがるさま。クワーガ スーヌ ブトゥブトゥシ ミッチェン (子どもがするのをうずうずして見ている)。(2)うずうず。何かやりたくてたまらないさま。欲しががるさま。カミブサヌ ブトゥブ

トゥ スン (食べたくてうずうずする)。

プトウプトウ【副詞】 ぶるぶる。がたがた。寒さ・恐怖などで身を震わせるさま。ピーハヌ プトゥプトウ ワンミクン (寒くてぶるぶる震える)。ウトウラハヌ チンシ ガタガタスン (恐ろしくて膝ががたがたする)。

フューフュー【副詞】 ひゅうひゅう。口笛の音。アマラ チューヌ チュー スーキチ フューフュー ユウン (向こうから来る人を口笛でひゅうひゅう呼ぶ)。

ブラナイ【副詞】 (1)ふらふら。よろよろ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラナイ アックン (酒を飲んでふらふら歩いている)。(2)よちよち。幼児などがおぼつかなく歩くさま。ワライヌ アッキ パジマティ ブラナイ アックン。(子どもの歩きがはじまってよちよち歩く)。(3)ぶらぶら。ぶらさがっているものが揺れ動くさま。ティー ブラナイ サギティ アックン (手をぶらぶら下げて歩く)。ハジョーホヌ ウンチャーギヌ ブラナイ ウグクン (風が強くてブランコがぶらぶら動く)。

ブラブラ【副詞】 (1)ふらふら。よろよろ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラブラ アックン (酒を飲んで酔ってふらふら歩いている)。(2)よちよち。幼児などがおぼつかなく歩くさま。ワライヌ アッキ パジマティ ブラブラ アックン (子どもの歩きがはじまってよちよち歩く)。(3)ぶらぶら。ぶらさがっているものが揺れ動くさま。ティー ブラブラ シー アックン (手をぶらぶらさせて歩く)。ハジョーホヌ ウンチャーギヌ ブラブラ ウグクン (風が強くてブランコがぶらぶら動く)。(4)ぶらぶら。目的もなくうろつくさま。シグトゥン サングトゥ ブラブラ サクン (仕事もせずにぶらぶらしている)。

ブルブル【副詞】 ぶくぶく。ものなどが水中に沈んでいくさま。ワライヌ ブックティ ブルブル シンクン (子どもが溺れて、ぶくぶく沈む)。アキビン ハーランガティ ウトゥチャトゥ ブルブル シンクン (空き瓶を川に落としたから、ぶくぶく沈む)。

ブンブン【副詞】 ぶんぶん。羽虫が飛び回るさま。ペー ブンブン トウドウン (蠅がぶんぶん飛んでいる)。ペー ブンブンシ カマラン (蠅がぶんぶんとかかって食べられない)。ブーブーともいう。

ベー【副詞】 めえ。山羊の鳴くさま。ピージャヤ ベーディチ ナクン (山羊はめえと鳴く)。

ペー【副詞】 ペっ。唾などを吐くさま。トゥンペー ペーディチ パクタン (唾をペッと吐いた)。

ベーナイ【副詞】 めえめえ。山羊が鳴くさま。ピージャヤ ヤーハネ ベーナイ ナクン (山羊はおなかがすくとめえめえ鳴く)。ピージャヤ ベーナイ ナクトウ クサ クワーシェー (山羊がめえめえと鳴くから、草を食わせろ)。

ベーベー【副詞】 (1)めえめえ。山羊が鳴くさま。ピージャヤ ヤーハネ ベーベー ナクン (山羊はおなかがすくとめえめえ鳴く)。**【名詞】** (2)山羊の小児語。

ベーミカスン【動詞】 (自) めえと鳴く。山羊がしりに鳴く。ピージャ ベーミカチ
ナクトゥ クサ クワーシェー (山羊がめえと鳴くから、草を食わせろ)。

ベレベレ【副詞】 びらびら。びろびろ。とさかのゆれるさま。ウードウイヌ カンジュー
ベレベレ ウグケン (雄鶏のとさかがびらびら動く)。

ボーナイ【副詞】 ほうほう。草などが乱雑に伸び繁っているさま。イッター ポロー ク
サガ ボーナイ ミートウトゥ タグレー (お前たちの畑は草がほうほう生えているから、
引き抜け)。

ボーボー【副詞】 ほうほう。草などが乱雑に伸び繁っているさま。イッター ポロー ク
サガ ボーボー ミートウトゥ タグレー (お前たちの畑は草がほうほう生えているから、
引き抜け)。

ホーホケキヨ【副詞】 ほうほけきよ。うぐいすの鳴き声。ホーホケキョディチ ナクン
(ほうほけきよと鳴く)。

ポトポト【副詞】 ぼたぼた。ほとほと。ちいさな物がつづけざまに落ちるさま。ミジ ポ
トポト タイトゥ ガラン クラク シミレー (水がぼたぼた垂れるから、蛇口をしっかり
閉めろ)。

ポトミカスン【動詞】 (自) (1)ほとんと落ちる。ほとりと落ちる。ヌーガラ ポトミカチ
ウティヌ ウトゥ スータン (なにかほとんと落ちる音がシヨッタ)。(2)ぼんと軽く跳ぶ。
ポトミカチ トウヌゲー (ぼんと跳べ)。

ポトン【副詞】 ほとん。ほとり。ちいさな物が落ちるさま。ヌーガラ ポトンディチ ウ
ティタン (何かがほとんと落ちた)。

ポトンポトン【副詞】 ぼたぼた。ほとほと。ちいさな物がつづけざまに落ちるさま。キー
ヌ ナイヌ ポトンポトン ケッサン ウティタン (木の実がぼたぼたたくさん落ちた)。
ガラン シミヨーハヌ ミジ ポトンポトン イジトゥン (蛇口の閉め方が弱くて水がぼ
たぼた出ている)。

ホロナイ【副詞】 ぼろぼろ。さくさく。一塊のものが乾燥して容易に崩れたり砕けたりし
やすいさま。

ボロナイ【副詞】 ぼろぼろ。ものがひどくやぶれたり壊れたりしているさま。ウヌ チョ
ーメンヤ ペークラ シカティ ボロナイ ナトゥン (その帳面は以前から使ってぼろぼ
ろになっている)。

ホロナイ【副詞】 うろうろ。うろちょろ。ぞろぞろ。人や生き物がうろつくさま。トービ
ーラーガ ホロナイ イジタクン (ゴキブリがぞろぞろでている)。トービラーガ ホロ
ナイ シー ムヌー カマラン。(ゴキブリがうろちょろして食事ができない)。

ホロホロ【副詞】 (1)ふわふわ。布・着物などが乾いているさま。ウヌ キヌヤ ハーラチ
ホロホロ シー キーヤッセン (その服は乾いてふわふわと着易い)。(2)ぼろぼろ。さくさ

く。一塊のものが乾燥し容易に崩れたり砕けたりしやすいさま。マヌ パタキヤ ホロ
ホロ シー ウチャッセン（そこの畑はさくさくして耕しやすい）。ムルサー ホロホロ
シー ワックイアッセン（土塊がさくさくと潰れやすい）。

ボロボロ【副詞】 ぼろぼろ。ものがひどくやぶれたり壊れたりしているさま。ウヌ キヌ
ヤ ボロボロ ヤリティ キララン（その服はぼろぼろに破れて着られない）。ムカシヌ
チョーメン ボロボロシー シカララン（昔の帳面がぼろぼろで使えない）。

ホロホロ【副詞】 うろうろ。うろちょろ。ぞろぞろ。人や生き物がうろつくさま。トービ
ーラーガ ホロホロ イジタクン（ゴキブリがうろちょろでている）。トービラーガ ナイ
ヌ パタナガシ ホロホロ アックン（ごきぶりが鍋の脇をうろちょろあるく）。

ボロボロ【副詞】 とろとろ。お粥や雑炊の水の多いさま。クヌ ジューシヤ ミジヌ
ウポホヌ ボロボロ ナトゥン（今日の雑炊は水が多くてとろとろになっている）。クヌ
メーヤ ミジヌ ウポホヌ ボロボロ ナティ カマラン（今日の飯は水が多くてとろと
ろになって食べられない）。

ボン【副詞】 どん。ぼん。太鼓をたたく音。また、そのさま。チジミヌ スケイ ポンデ
イチ ナイタン（太鼓が一度ぼんと鳴った）。

ボンナイ【副詞】 どんどん。ぼんぼん。太鼓をたたく音。チジミ ポンナイ ウッチュヌ
ウトウ キカイン（太鼓をぼんぼん打つ音が聞こえる）。テーク ポンナイ ウッチュヌガ
ハク イカナ（太鼓をぼんぼん打っているが、早く行きたい）。

ボンボン【副詞】 だぶだぶ。たぶたぶ。液体が容器などに多量にあるさま。水などが満ち
あふれているさま。シルヌ ミーヤ ネーヌ ボンボンシ マーク ネン（汁の具はなく
てだぶだぶしておいしくない）。ナーシルヌ ミジ ボンボン スン（苗代の水が満ちあふ
れている）。チャー ヌミジューハヌ ワタ ボンボン スン（茶を飲みすぎて、腹がだぶ
だぶしている）。

ボンボン【副詞】 ぼんぼん。太鼓をたたく音。チジミ ボンボン ウチュン（太鼓をぼん
ぼん打つ）。テーク ボンボン ウッチュヌガ ハク イカナ（太鼓をぼんぼん打っている
が、早く行きたい）。

ボンマカスン【動詞】（他）(1)どんとたたく。（自）(2)どんと鳴る。チジミヌ ポンマカチ
ナイタサ（太鼓がぼんと鳴ったよ）。（他）(3)ぼちゃんと落とす。水に石など小さなものを
ぼちゃんと音をたてて落とす。（自）(4)ぼちゃんと落ちる。水に石など小さなものがぼちゃ
んと音をたてて落ちる。ボンミカスンともいう。

ボンミカスン【動詞】（他）(1)どんとたたく。（自）(2)どんと鳴る。（他）(3)ぼちゃんと落
とす。水に石など小さなものをぼちゃんと音をたてて落とす。（自）(4)ぼちゃんと落ちる。
水に石など小さなものがぼちゃんと音をたてて落ちる。ハーラニ イシ ナギタトゥ ポ
ンミカスタン（川に石を投げたら、ぼちゃんと落ちた）。ボンマカスンともいう。

ミーガーガー【副詞】 すかすか。穴だらけに。節穴などが多く、あるいは大きく空いているさま。ウヌ イタヤ プシダカラ エトゥ ミーガーガー ナトゥン。ケーレー（その板は節穴だらけだから、すかすかになっている。替えろ）。

ミークークー【副詞】 しょぼしょぼ。目がしょぼしょぼで開きにくいさま。しまりふさがっていること。ミークークー シー マーラン（目がふさがって見えない）。ミークークー シー ミーゴロホン（目がしょぼしょぼして見えにくい）。ミークークー ナティ ミーゴロホン（目がしょぼしょぼになって見えにくい）。

ミーヒン【副詞】 ひひん。馬のいななく声。マース ミーヒンディチ ナクスガ ダース マーガヤー（馬がひひんと鳴くが、どこの馬だろう）。

ミナバタバタ【副詞】 ただばたばたすること。ばたばた働く割に能率があがらないさま。むだぼね。むだに。

ムカムカ【副詞】 むかむか。気分が悪くて吐き気がするさま。むかつくさま。アシティビチ カミジューハヌ ミニ ムカムカ スン（アシティビチを食べ過ぎて、胸がむかむかする）。サキ ヌミジョーホヌ ムカムカシ キムタデハン（酒を飲みすぎて、むかむかと気持ち悪い）。

ムサムサ【副詞】 もたもた。はかどらないさま。手間どるさま。ムサムサ ハタジキラン グトゥ ガシガシ ハタジキレー（もたもた片付けしないで、さっさと片付ける）。

ムサムサ【副詞】 むずむず。もぞもぞ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。キヌヌ ナハニ ヌーガ イッチュラ ムサムサ イジュクン（服の中に何が入ったかむずむず動く）。ムジウムジュともいう。

ムジウムジュ【副詞】 むずむず。うずうず。もぞもぞ。やりたくてたまらず落ち着かないさま。チューガ スース ミチ ドゥーマディ シーブサヌ ムジウムジュ スン（人がしているのを見て自分までやりたくてうずうずする）。イナグヌ シーバイ シーブサヌ ムジウムジュ シー タッチュン（女が小便をしたくてもぞもぞして立っている）。

ムジウムジュ【副詞】 むずむず。もぞもぞ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。ムサムサともいう。

ムタナイ【副詞】 わいわい。がやがや。大勢でさわがしいさま。ケッサヌ チューガ ムタナイ サワゲン（たくさんの人ががやがやと騒いでいる）。

ムタムタ【副詞】 わいわい。がやがや。大勢でさわがしいさま。ケッサヌ チューガ ムタムタ サワジュン（たくさんの人ががやがや騒いでいる）。

ムタムタ【副詞】 もたもた。はかどらないさま。手間どるさま。ムタムタ ハタジキラン グトゥ ガシガシ ハタジキレー（もたもた片付けしないで、さっさと片付ける）。

ムチャナイ【副詞】 ねばねば。べたべた。粘りつくさま。ムチ アーシネ ティー ムチャナイ スン（餅をこねると手がべたべたする）。

ムチャムチャ【副詞】 ねばねば。べとべと。べたべた。ねとねと。粘りつくさま。ミークスヌ ムチャムチャシ ミー アキゴロホン（目やにがねばねばして目を開けづらい）。サータティンプラ スコインチ ティー ムチャムチャ スン（砂糖てんぷらを作ろうと手がねばねばしている）。ムチ アーシネ ティー ムチャムチャ スン（餅をこねると手がべたべたする）。

ムツチャクワツタイ【副詞】 ねばねば。べとべと。べたべた。ねとねと。ムチャムチャより一層粘りつくさま。ティンプラー アースヌ バーヤ ミリキングーヌ ティーニ ムツチャクワツタイ タックワトウン（天ぶらの衣をこねるとき、小麦粉が手にねばねばくっついている）。

モー【副詞】 もう。牛の鳴き声。ウシヌ ヤーハガ アイラ モーディチ ナクタン（牛が空腹なのか、もうと鳴いた）。

モーナイ【副詞】 もうもう。牛の繰り返し鳴くさま。ウシー モーナイ ナクトゥ クサー クワーシェー（牛がもうもう鳴くから、草を喰わせろ）。トゥナイヌ ウシヤ モーナイ ナキジャーハン（隣の牛はもうもうよく鳴く）。

モーミカスン【動詞】（自）もうと鳴く。ウシヌ モーミカチ スケイ ナクタシガ ヤーハル アイガヤー。クサ クワーシネ ノーイサ（牛がもうと一回鳴いたが、腹でもすかしているのだろうか。草を食べさせたらおさまるよ）。ウシヌ アッタニ モーミカチ ナクタン（牛が急にもうと鳴いた）。

モーモー【副詞】 もうもう。牛の繰り返し鳴くさま。ウシー モーモー ナクトゥ クサー クワーシェー（牛がもうもう鳴くから、草を喰わせろ）。ウシヌ ヤーハガ アイラ モーモー ナクン（牛が空腹なのか、もうもう鳴く）。

ヤンビクワンクワン【副詞】 ぼろぼろに。ぐしゃぐしゃに。物がひどく壊れ形がそこなわれているさま。ドーグヌ ヤンビティ ヤンビクワンクワン ナトゥン（道具が壊れてぼろぼろになっている）。

ユーユートゥ【副詞】 (1)楽に。ゆったり。ピサ スワチ ユーユートゥ シェー（足を伸ばして楽にしろ）。シチビー ウワティ ユーユートゥ ナタン（節日が終わって楽になった）。ユーユートゥ シンソーレー（お楽にしてください。来客へかけることば）。ユフタトゥ ユーユートゥ ナタン（休んだので楽になった）。(2)のんびり。ゆっくりユーユートゥ モーチン アタイサ（のんびりいらっしゃっても間に合うよ）。

ユタナイ【副詞】 ゆさゆさ。大きなものが揺れ動くさま。ウヌ パシヤ ユタナイ シー、アッキネ ウトゥラハタン（その橋はゆさゆさして、歩くと怖かった）。パシヌ ユタナイ ウグクトゥ アッカラン（橋がゆさゆさ動くので歩けない）。

ユタミカスン【動詞】（自）ゆさゆさ揺れる。ウヌ パシヤ アッキネ ユタミカスタン（その橋は歩くとゆさゆさ揺れた）。

ユタユタ【副詞】 ゆさゆさ。大きなものが揺れ動くさま。ウヌ パシヤ アッキネ ユタ ユタ ウグクン（その橋は歩くとゆさゆさ動く）。ウヌ パシヤ ユタユタ シー、アッキネ ウトゥラハン（その橋はゆさゆさして、歩くと怖い）。

ユタユタバシ【名詞】 ゆさゆさ橋。ゆさゆさ揺れ動く橋。

ユルユル【副詞】 ゆるゆるに。ゆるんでいるさま。きつく締まっていないさま。ウービヌ ユルユル ヒチュン（帯がゆるゆるしている）。チューク クンカンキネ ユルユル スン（強く縛らないとゆるゆるする）。ユルユル クンチ クンキグチ アトンガティ マーシエー（ゆるゆるに縛って、結び目を後ろにまわせ）。ゴムヌ ヌビティ ユルユル ナトゥ トゥ ケーレー（ゴムが伸びて緩々になっているから、取り換えろ）。

ユンタクフィンタク【副詞】 べらべら。ぺちやくちゃ。むやみにしゃべるさま。ユンタク フィンタク ユマンガトゥ ハク シェー（ぺちやくちゃしゃべらずに、早くしろ）。ユンタク フィンタク サングトゥ ガサナイ シェー（ぺちやくちゃしないで、さっさとしろ）。

ワーナイ【副詞】 (1)じゃんじゃん。どんどん。がんがん。勢いよく連続して行われるさま。バケツチ ミジ ワーナイ ハヤスン（バケツで水をじゃんじゃん運ぶ）。サンシン ワーナイ ナラスン（三味線をじゃんじゃん鳴らす）。イシ ワーナイ ナギン（石をどんどん投げる）。バンナイともいう。(2)ざあざあ。どんどん。勢いよく水が流れるさま。タキヌ ミジガ ワーナイ ナガリン（滝の水がざあざあ流れる）。アミプイジョーホヌ ハーラス ミジ ワーナイ ナガリン（土砂降りて川の水がどんどん流れる）。

ワーナイ【副詞】 わあわあ。わんわん。人が大声で泣くさま。ワーワーより程度が激しい。ダーガ ヤムラ、クワヌ ワーナイ ナクン（どこが痛いのか、子がわあわあ泣いている）。

ワーナイ【副詞】 わんわん。耳鳴りの音。ミミヌ ワーナイ ナイン（耳がわんわん鳴る）。

ワーミカスン【動詞】（自）わあっと泣く。ワライヌ アッタニ ワーミカチ ナクスガ、ダン ヤミル スガヤー。（子どもが急にわあっと泣いているが、どこか痛むのかな）。

ワーミカスン【動詞】（自）わんと吠える。アマヌ イヌヤ ワーミカチ ガウイン（あそこの犬はわんと吠える）。ワウミカスンともいう。

ワーワー【副詞】 わあわあ。大声で泣くさま。ワライヌ ワーワー ナクスガ イヤーヤヌー スガ（子どもがわあわあ泣いているが、お前は何をしているの）。

ワーワートゥ【副詞】 ゆったりと。ゆうゆうと。ひろびろと。ゆとりがあつて窮屈でないさま。コーミンカンヤ ワーワートゥ アイトゥ、イーヤッセン（公民館はひろびろとしているので、座りやすい）。ヒルハヌ ワーワートゥ イッチュン（広いのでゆったりと座っている）。キヌヤ ワーワートゥ ノーレー（着物はゆったりと縫え）。

ワウナイ【副詞】 わんわん。犬の鳴き声。ワウナイ イヌニ ガウラッタン（わんわん犬に吠えられた）。

ワウミカスン【動詞】（自）わんと吠える。アマヌ イヌヤ ワウミカチ ガウイン（あ

そこの犬はわんと吠える)。ワーミカスンともいう。

ワウワウ【副詞】 わんわん。犬の鳴き声。ワウワウ イヌニ ガウラッタン (わんわん犬に吠えられた)。

ワサナイ【副詞】 がやがや。ざわざわ。ワライタガ ドック ワサナイ サワジュトウ ニンバラ (子ども達があまりにがやがや騒いでいるので眠れない)。

ワサワサ【副詞】 (1)がやがや。ざわざわ。大勢で騒がしいさま。ワライタガ ワサワサ サワジ ニンバラ (子供たちががやがや騒いで眠れない)。(2)そわそわ。気になることがあり、気持ちや動作の落ち着かないさま。胸さわぎするさま。キム ワサワサ シー ドウヌ バン マッチェン (気持ちがそわそわして、自分の番を待っている)。シワグトウヌ アイヌ バーヤ キムー ワサワサシ ウティシカン (心配のあるときは、気持ちがそわそわして落ち着かない)。マーガガ ケーティカントウ シワシ ミニ ワサワサシ ウティシカン (孫が帰ってこないので、心配で胸がざわざわして落ち着かない)。キム (心、気持ち) やミニ (胸) と組合わさって、キムワサワサ、ミニワサワサと一語のようにいう。キムワサワサ シー ピッチー ナーマナーマ スン (そわそわしてしょっちゅうまだかまだかとする)。ケーティ クースガ ニーハヌ シワーシ キムワサワサ スン (帰ってくるのが遅くて、心配でそわそわしている)。アリン フリン サンキネ ナラントウ ミニ ワサワサ スン (あれもこれもしなければならぬので、胸がざわざわする)。

ワジワジ【副詞】 むしゃくしゃ。むかむか。腹が立つさま。怒りがこみあげてくるさま。ワジワジ ヒチュン (むしゃくしゃしている)。ワジワジシ サク イジティ ウティシカン (むしゃくしゃして癪にさわって落ち着かない)。

ワブワブ【副詞】 だぶだぶ。ぶかぶか。がばがば。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ワブワブ スン (この着物はだぶだぶする)。

ワンワン【副詞】 わんわん。耳鳴りのさま。ミミヌ ワンワン ナイン (耳がわんわん鳴る)。

ナーガー【副詞】 おぎゃあ。赤ん坊の泣くさま。

ナーガーナーガー【副詞】 おぎゃあおぎゃあ。赤ん坊のしきりに泣くさま。

参考文献

浅野鶴子・金田一春彦 (1978)『擬音語・擬態語辞典』角川書店

天沼寧編 (1974)『擬音語・擬態語辞典』東京堂出版

かりまたしげひさ (2012)「沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語擬態語」『日本東洋文化論集』第18号, 琉球大学法文学部紀要, pp.41~60、沖縄。

新川忠 (1979)「副詞と動詞のくみあわせ」試論『言語の研究』pp.173-202、むぎ書房。

新川忠 (1996)「副詞の意味と機能」『ことばの科学』7号、pp.61-80、むぎ書房。

田守育啓、ローレンス・スコウラップ (1999)『オノマトペー形態と意味』p.228、くろしお

出版。

仁田義雄（2002）『副詞的表現の諸相』 p.325、くろしお出版。